

令和2年度
県内キャッシュレス導入実証及び
Be. Okinawa Free Wi-Fi 推進委託業務
報告書



沖縄県

令和3年3月

目 次

I. 概 要	1
1. 本事業の概要	2
II. キャッシュレス決済端末効果検証調査	3
1. キャッシュレス決済端末効果検証調査結果	4
2. 小括	13
III. 沖縄県内の3地点におけるクレジットカードの利用件数・利用額データ分析結果	17
1. 目的	18
2. インバウンド客	20
3. 在住外国人	25
4. 県外日本人客	30
5. 県内在住日本人	34
6. 小括	37
IV. 協議会資料	38
1. 県内キャッシュレス導入実証及び Be.Okinawa Free-Wi-Fi 推進協議会の開催	39
2. Be.Okinawa Free Wi-Fi ログデータ分析	46
3. Be.Okinawa Free Wi-Fi オーナー向けサイト	52
4. Be.Okinawa Free Wi-Fi アンケートの設置	53
V. 総括	55
1. 総 括	56

I. 概 要

I 概要

1. 本事業の概要

(1) 調査目的

本事業では、沖縄観光において ICT 活用を促進させる相乗効果を図るとともに、国内外観光客における沖縄観光の満足度向上を目的として以下の取組を実施しました。

キャッシュレス決済に関しては、観光消費額の向上の観点も加え、前年実施の国内外観光客の利用状況、県内の観光関連産業の導入実態及び県内金融機関等のサービス提供状況等の調査結果より、各種キャッシュレス決済の将来性を踏まえた沖縄県のキャッシュレス決済のあり方を提言する協議会を設置するとともに、提言に関する具体的な実証にかかる機器導入支援・啓発を行うことで、県内観光関連事業にキャッシュレス決済の有効性等の周知を図りました。

フリーWi-Fiに関しては、観光情報の発信力向上の観点も加え、フリーWi-Fiのエリア拡大と利便性向上に努めることで、県が推奨する「Be. Okinawa Free Wi-Fi」の利活用の拡大を図る目的で事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症におけるキャッシュレス決済のあり方について、県立中部病院の高山医師が協議会に参加し、アドバイス等を得ることで安全・安心な決済の環境整備のノウハウを得ることとしました。

(2) 業務内容

① キャッシュレス決済関係

ア 県内キャッシュレス端末実証実験にかかる設置助成

- ・キャッシュレス（コンタクトレス決済対応端末）導入を検討する県内観光関連事業者への決済事業者を介した設置補助の実施。

イ 導入後の実証実験（アンケート調査等含む）

- ・事業者アンケート等によるキャッシュレス決済方法の利用動向、決済種別売上構成、キャッシュレス決済導入前後の客数（利用者数）・売上の変動分析、業務改善効果、新型コロナウイルス感染症予防策としての有用性・キャッシュレス決済導入ニーズなど、普及に向けた有効性の検証の調査実施。

ウ 3 地点のクレジット決済の利用件数及び利用金額の分析

- ・2019 年と 2020 年の県内の 3 地点におけるクレジットカードの利用件数及び利用金額をインバウンド、在住外国人、日本人観光客、在住日本人ごとに比較し、コロナ禍におけるキャッシュレス決済の動向を分析しました。

② Be.Okinawa Free Wi-Fi 関係

ア Be. Okinawa Free Wi-Fi ログデータの活用に向けた整備

- ・Be. Okinawa Free Wi-Fi 指定事業者から定期的に Be. Okinawa Free Wi-Fi ログデータを収集し、一括して利用できるよう取りまとめ、加工・分析を行いました。

イ 沖縄県キャッシュレス決済検討協議会及び Be. Okinawa Free Wi-Fi 推進協議会の実施しました。

II. キャッシュレス決済端末効果検証調査

II キャッシュレス決済端末効果検証調査

1. キャッシュレス決済端末効果検証調査結果

(1) キャッシュレス決済端末の導入後の効果検証調査

■ キャッシュレス決済端末を導入した事業所

調査方法	郵送発送・郵送回収
調査日程	2021 年 2 月 26 日～3 月 8 日
配布数	26 票
回収数/回収率	26 票/100%

(2) 報告書の見方

- 図表の数値は、特に明記していない場合以外は、「%」を表します。
- 報告書中のグラフ等の構成比は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならないものもあります。
- 設問によっては複数回答のため、グラフ等の比率の合計は 100%とはならない場合もあります。

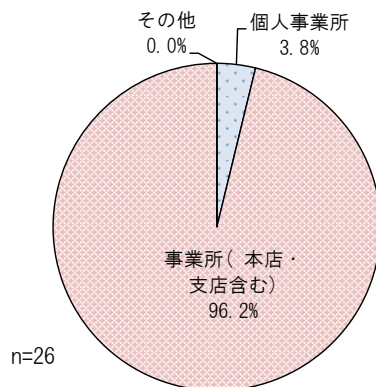
(1) 属性

本調査では、キャッシュレス決済端末の導入事業者（新規及び乗り換え）の26事業所から回答を得ました。

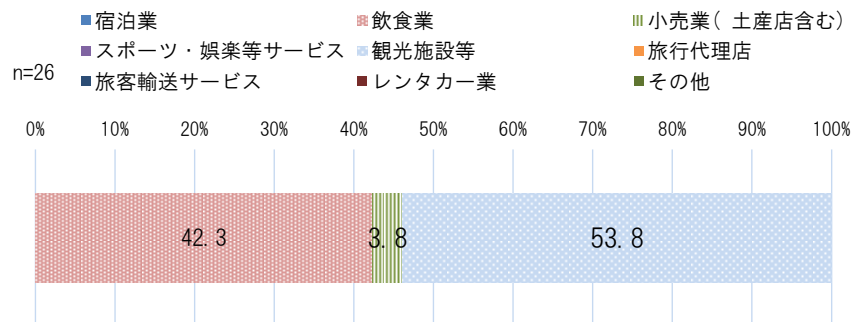
事業所の業種は、観光施設等が53.8%、飲食業が42.3%でほぼ占めています。

地域別では、本島北部が53.9%と最も多く、本島中部が26.9%と続きます。

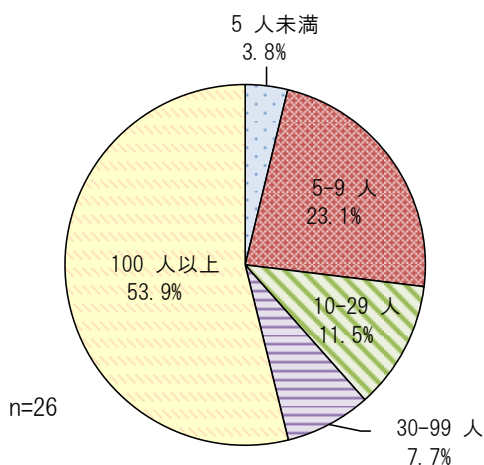
① 事業所の種類



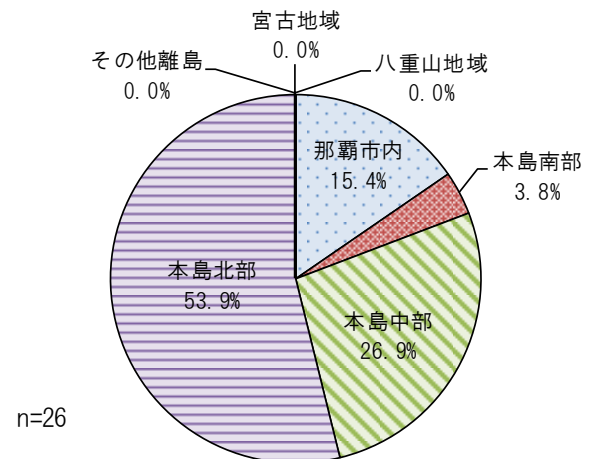
② 事業所の業種



③ 事業所の従業員数



④ 事業所の場所

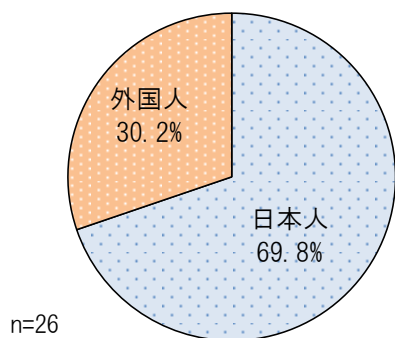


II キャッシュレス決済端末効果検証調査

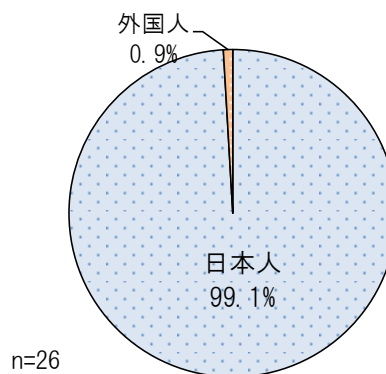
⑤ 新型コロナウイルス以前と以降の利用者の客層の変化

新型コロナウイルス以前と以降の事業所の利用客の変化では、日本人が7割、外国人が3割程度でしたが、新型コロナウイルス以降では日本人客がほぼ全てに変化しています。

新型コロナウイルス以前



新型コロナウイルス以降



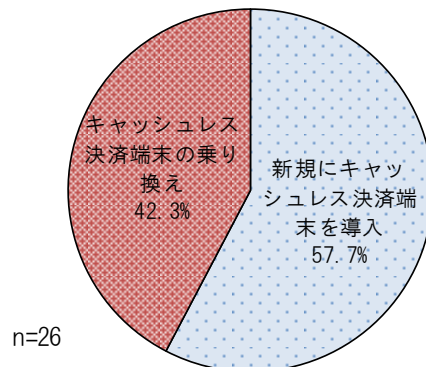
(2) キャッシュレス決済端末の導入について

本事業では、新規にキャッシュレス決済端末を導入した事業所は 15 事業所 (57.7%)、乗り換え等の事業所は 11 事業所 (42.3%) となります。

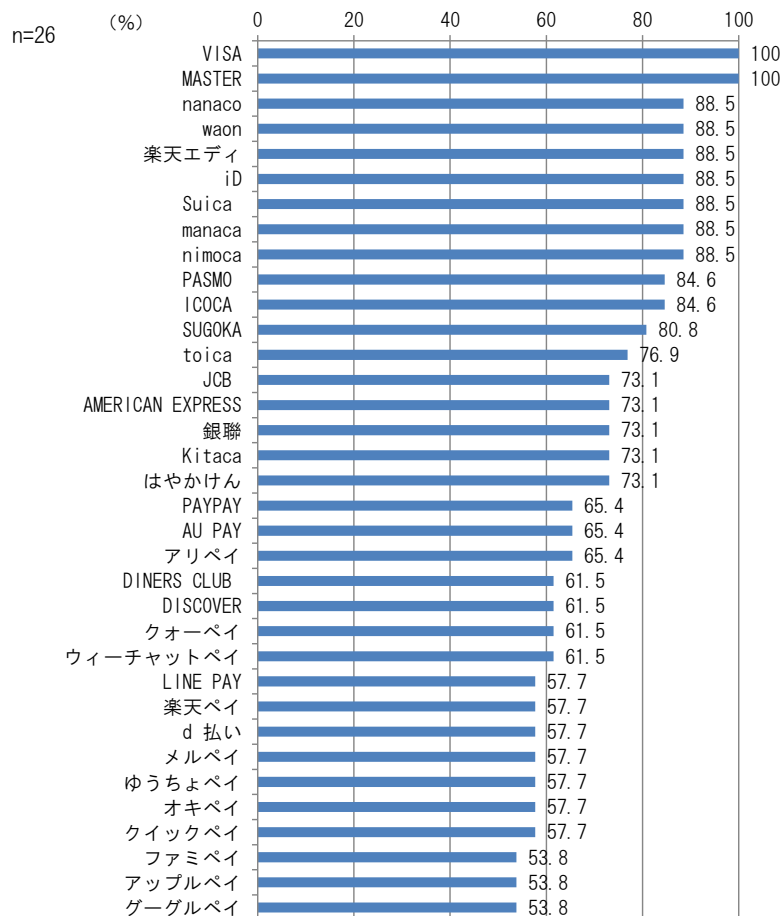
キャッシュレス決済の種類では、クレジットカード系、QR 系、電子マネー系、交通系電子マネーでの支払い方法など多様な選択肢が導入されています。台湾の交通系電子マネーの悠遊カードも導入されており、アリペイ、ウィーチャットペイなど中華圏の観光客等への環境整備が進んでいます。

※悠遊カードは、令和 4 年 1 月から利用の開始を見込んでいます。

① 事業所でのキャッシュレス決済端末の導入状況



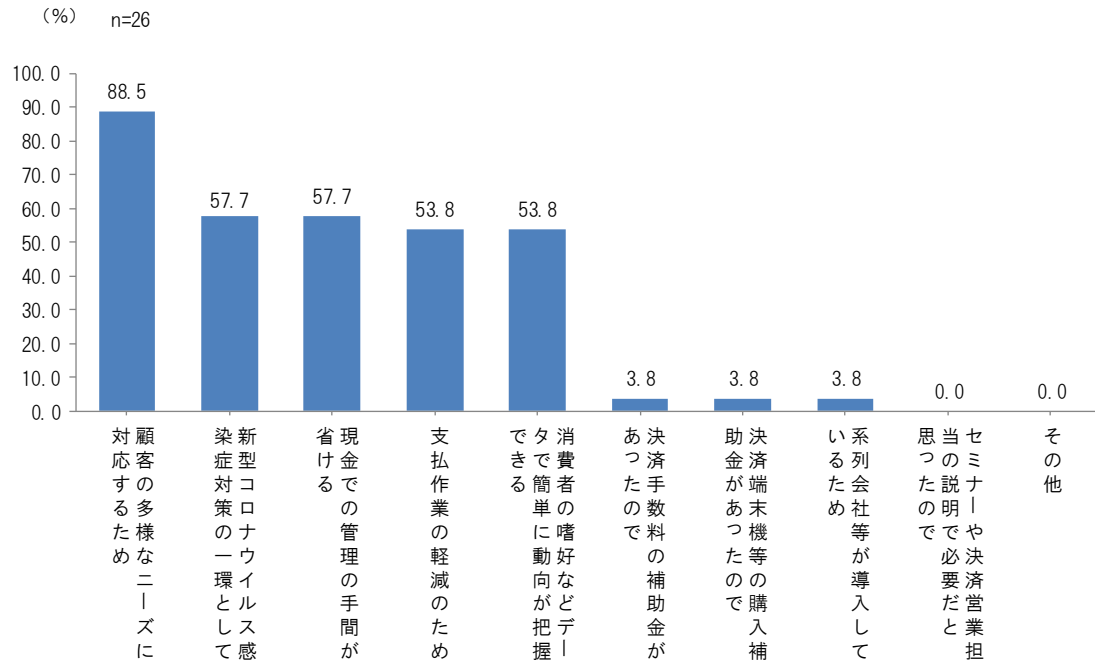
② 利用できるキャッシュレス決済の種類



Ⅱ キャッシュレス決済端末効果検証調査

③ キャッシュレス決済端末を導入した理由（複数回答）

理由として、「顧客の多様なニーズに対応するため」が88.5%と最も多く、「新型コロナウイルス感染症対策の一環として」「現金での管理の手間が省ける」が57.7%と続いています。

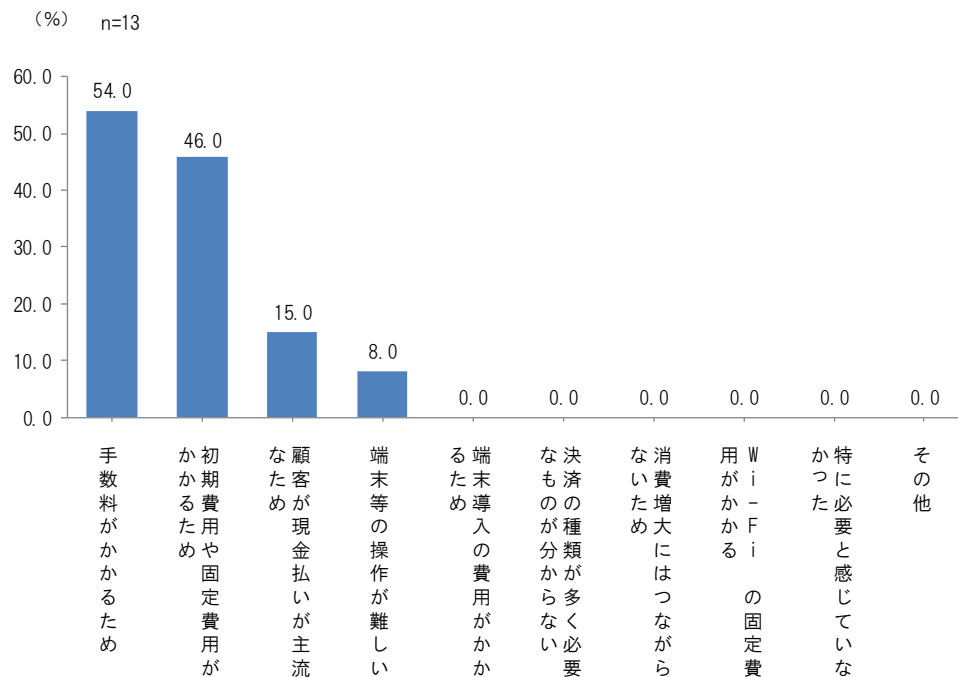


④ （新規に決済端末を導入した事業所）

今までキャッシュレス決済端末を導入していなかった理由（複数回答）

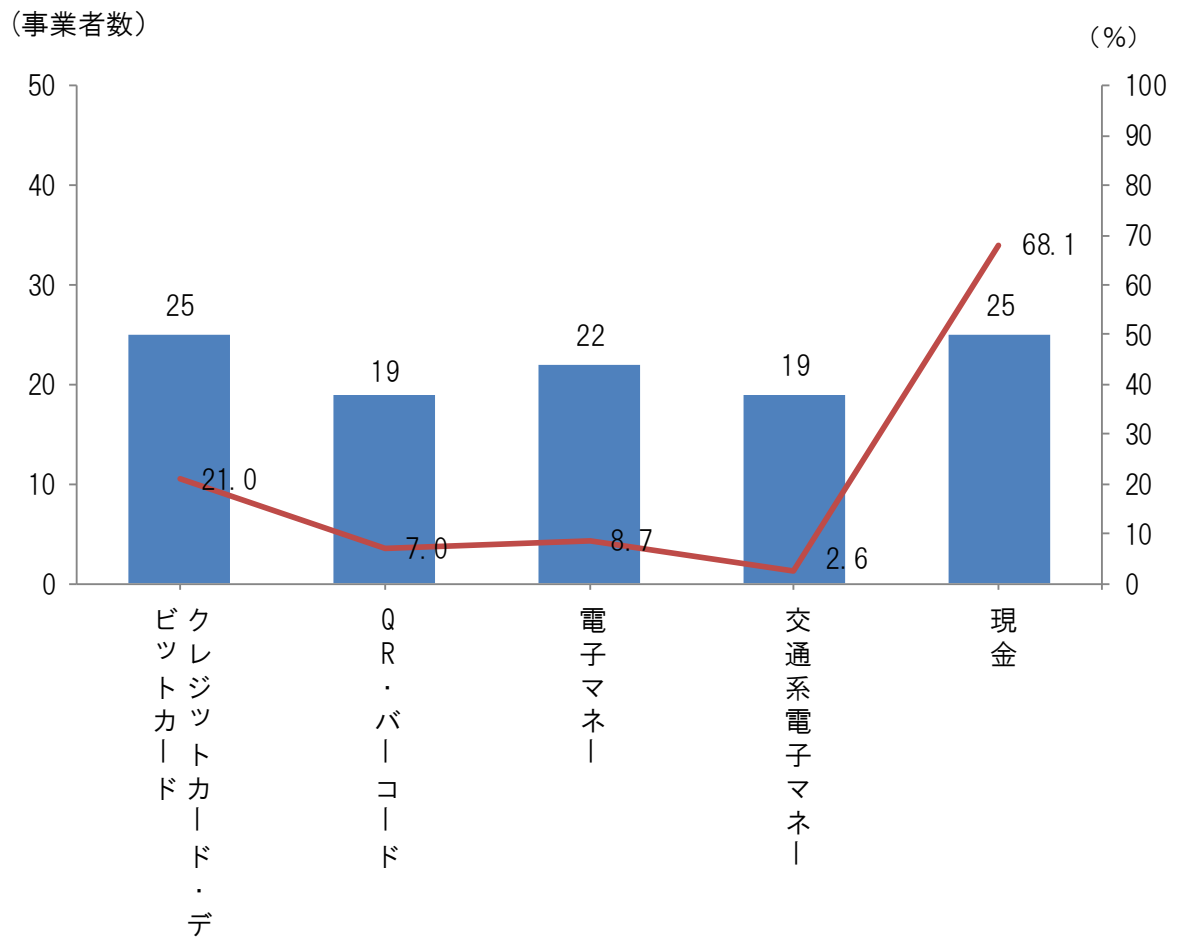
新規でキャッシュレス決済端末を導入した事業所について、今まで導入していなかった理由は、「手数料がかかるため」が54.0%と多く、「初期費用や固定費用がかかるため」が46.0%と続きます。

「特に必要と感じていなかった」は0%につき、手数料等の費用がかかることが導入のネックとなっています。



⑤ キャッシュレス決済端末導入後の決済の割合（複数回答）

決済端末導入後の決済方法では、クレジットカード等及び現金の決済の事業所数が多くなっています。割合をみると、現金が7割程と最も高く、次いでクレジットカード等が2割程度の利用になります。

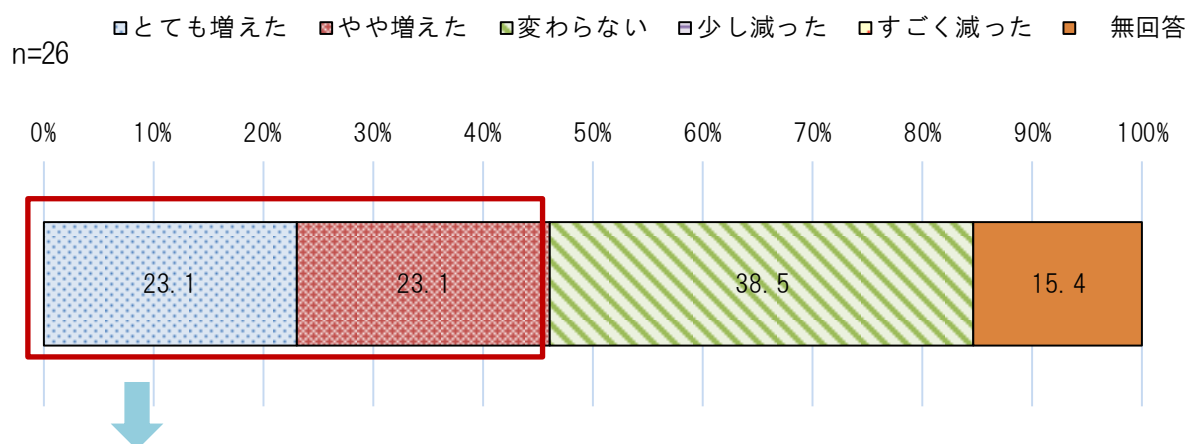


Ⅱ キャッシュレス決済端末効果検証調査

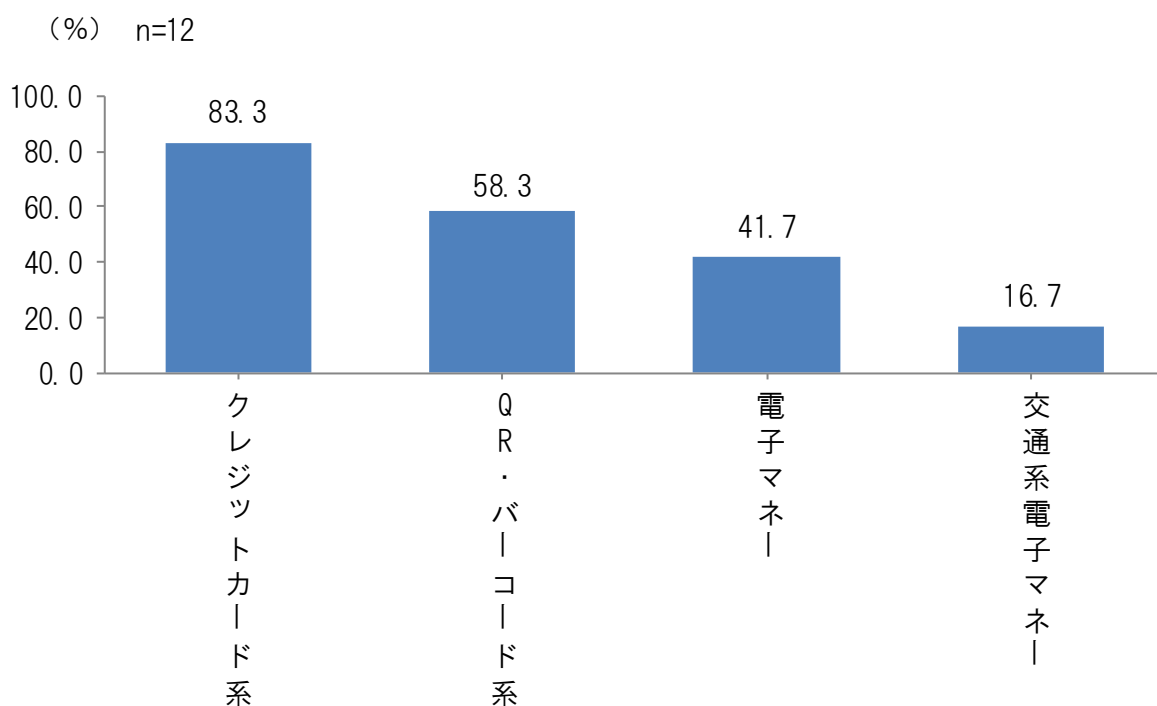
⑥ コロナ禍でのキャッシュレス決済の利用の増減

コロナ禍でのキャッシュレス決済の利用では、「とても増えた」+「やや増えた」で46.2%と半数程度の事業所が増えたと回答をしています。

増えたと回答した事業所の決済方法では、クレジットカード系が8割程と多く、次いでQR・バーコード系が6割程と続きます。

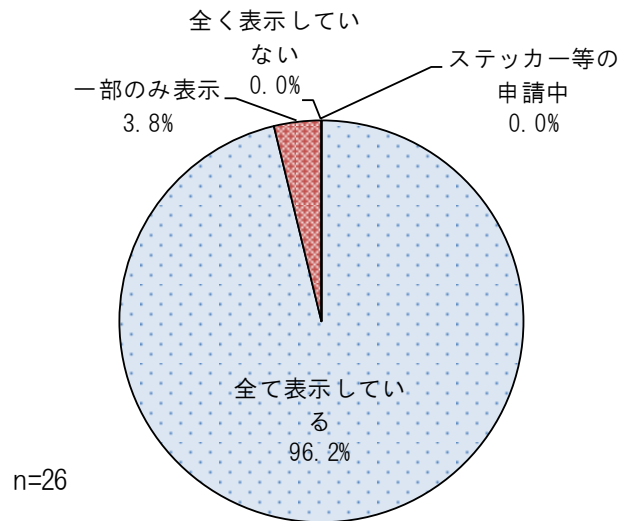


⑦ 増えた決済方法（複数回答）



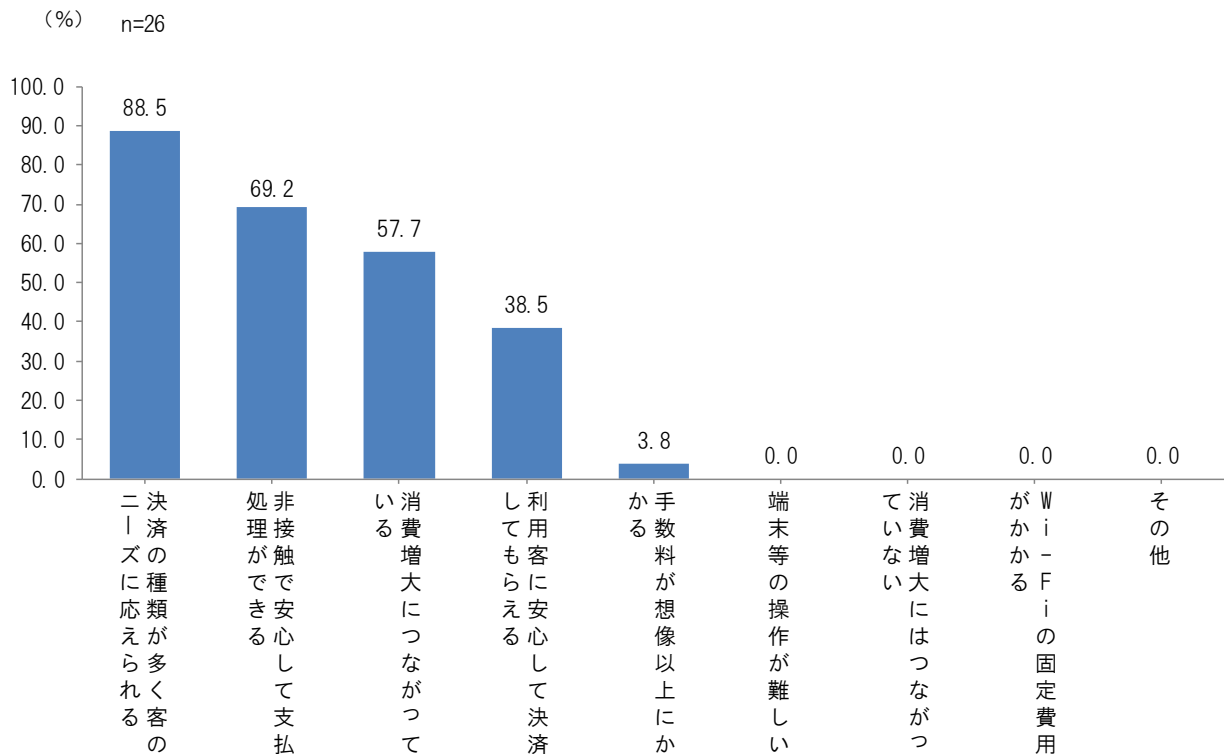
⑧ キャッシュレス決済対応のステッカー等での表示や周知

キャッシュレス決済のステッカー等の表示は、9割以上が全て表示をしています。



⑨ 事業所でキャッシュレス決済端末を導入した感想（複数回答）

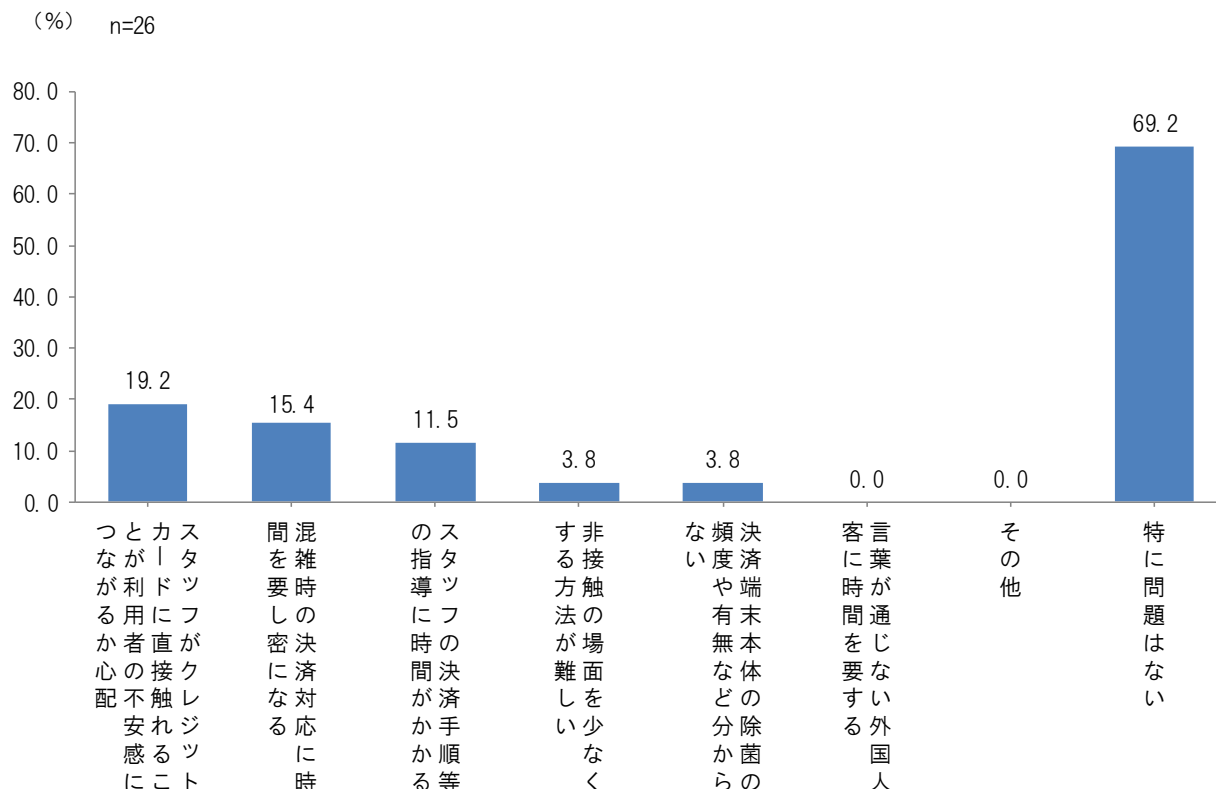
キャッシュレス決済端末の導入については、「決済の種類が多く客のニーズに応えられる」が88.5%と最も多く、「非接触で安心して支払処理ができる」が69.5%、「消費増大につながっている」が57.7%で上位3位の回答となります。また、4割程が「利用客に安心して決済」の回答で決済の選択肢の多さや安心した決済方法が評価されています。



II キャッシュレス決済端末効果検証調査

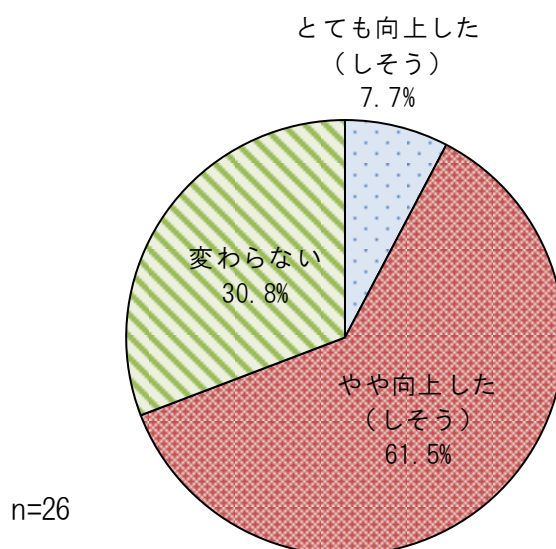
⑩ コロナ禍のキャッシュレス決済の課題（複数回答）

コロナ禍における課題は、「特に問題はない」が7割程です。



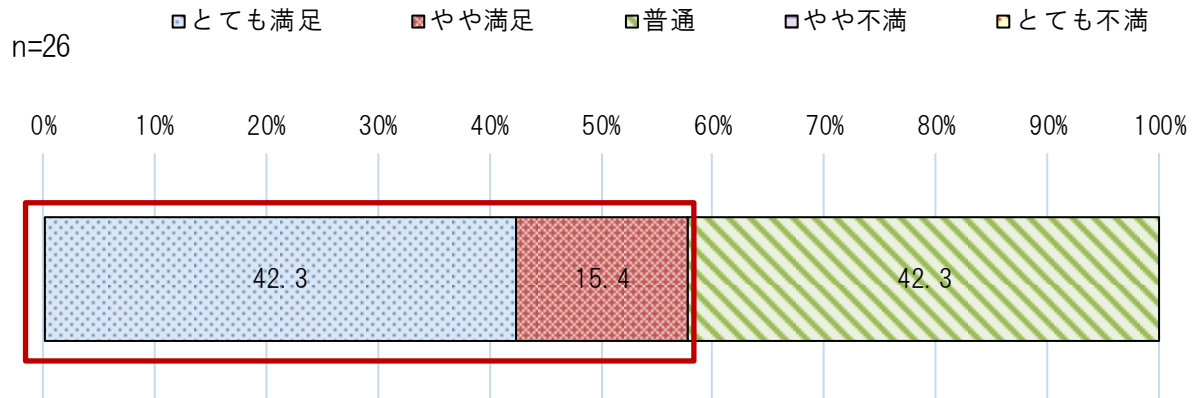
⑪ キャッシュレス決済端末を導入した後、売り上げの向上や見込み

キャッシュレス決済端末導入後の売り上げについて、「とても向上した（しそう）」(7.7%) + 「やや向上した（しそう）」(61.5%) を合わせると 69.2% が向上ないし向上の見込みをしています。



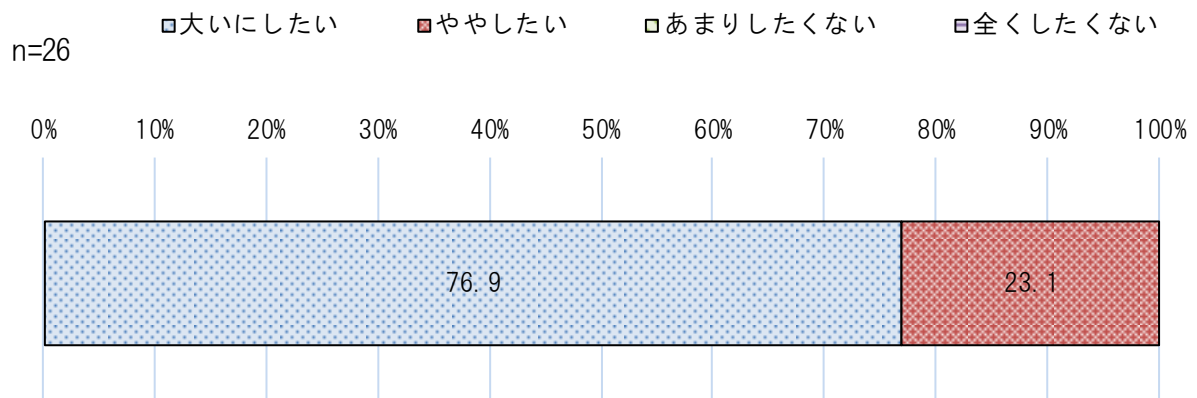
⑫ キャッシュレス決済端末を導入した満足度

満足度では、「とても満足」(42.3%) + 「やや満足」(15.4%) を合わせると 57.7% が満足しています。



⑬ キャッシュレス決済端末導入の推奨度

推奨度では、「大いにしたい」 + 「ややしたい」 を合わせると 100% となります。



2. 小括

- コロナ禍におけるキャッシュレス決済端末の導入は、「多様なニーズ」や「安全な決済方法」など利用者が求めている支払い環境の整備が重要となります。
- キャッシュレス決済での支払いが、半数の事業所が増えたとの回答があり、with コロナにおける観光客の受入環境整備の一環として事業所の売り上げにつながる事が予想されます。
- キャッシュレス決済端末の導入の満足度、推奨度については、非常に高く、決済端末への期待が見られます。今後の New normal の生活様式に変わっていく支払い手段として推進していくことが望まれます。

II キャッシュレス決済端末効果検証調査

■ キャッシュレス決済端末導入後に関するアンケート調査票

キャッシュレス決済端末導入後に関するアンケート調査

【アンケートご協力をお願い】

皆様には日頃より県政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、沖縄県では、キャッシュレス決済の導入の促進に向けて事業者の意向や導入の実態を把握し、施策に反映するためのアンケートを実施する運びとなりました。

ご回答頂いた調査結果を元に、今後の県内キャッシュレス決済の普及に活用させていただき、当県が国際的なリゾート観光地として位置出来る様、国内外観光客の受入環境整備および事業者のサポートに努めて参りたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年2月

沖縄県 文化観光スポーツ部観光振興課

【調査票の返送方法】

以下のいずれかの方法で調査票のご返送をお願いいたします。

1. 返信用封筒

返信用封筒に入れて、令和3年3月5日（金）までに郵便ポストに投かん

2. ファクシミリ

ファクシミリでのご返送 3月8日（月）まで

098-860-0653 受託会社㈱サーベイリサーチセンター沖縄事務所宛

アンケート回答の締め切りは、3月8日(月)となります。

【調査内容に関するお問い合わせ先】

調査受託事業者

株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所

沖縄県那覇市久茂地3-21-1 國場ビル9階

担当：川田、劉（りゅう）、李（り）

フリーコール：0120-957-937（平日10時から18時）

II キャッシュレス決済端末効果検証調査

Q1 貴事業所の種類をお答えください。(ひとつだけ)

1 個人事業所	2 事業所(本店・支店含む)	3 その他()
---------	----------------	----------

Q2 貴事業所の業種をお答えください。(主な事業1つだけ)

1 宿泊業	2 飲食業	3 小売業(土産店含む)	4 スポーツ・娯楽等サービス
5 観光施設等	6 旅行代理店	7 旅客輸送サービス	8 レンタカー業
9 その他()			

Q3 貴事業所の従業員数についてお答えください。

系列事業所の場合は、回答の事業所の従業員数をお答えください。(パート・アルバイト等含めた全従業員数)

1 5人未満	2 5-9人	3 10-29人	4 30-99人	5 100人以上
--------	--------	----------	----------	----------

Q4 回答している貴事業所の場所をお答えください。(ひとつだけ)

1 那覇市内	2 本島南部	3 本島中部	4 本島北部	5 八重山地域
6 宮古地域 7 その他離島()				

Q5 新型コロナウイルス以前の貴事業所の利用者の客層の平均的な割合をおおよそで結構ですでお答えください。季節変動は除きます。

1 日本人()%	2 外国人()%	* 合計が100%になるようにご記入ください。
-----------	-----------	-------------------------

Q6 令和2年の3月以降の新型コロナウイルスによる入国制限以降、貴事業所の利用者の客層の平均的な割合をおおよそで結構ですでお答えください。季節変動は除きます。

1 日本人()%	2 外国人()%	* 合計が100%になるようにご記入ください。
-----------	-----------	-------------------------

Q7 貴事業所でのキャッシュレス決済端末の導入について状況をお答えください。

1 新規にキャッシュレス決済端末を導入	2 キャッシュレス決済端末の乗り換え
---------------------	--------------------

Q8 貴事業所で導入済みのキャッシュレス決済に○をつけてください。(いくつでも)

クレジットカード・デビットカード							QR・バーコード					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
							⑫	⑬	⑭	⑮		
							⑯	⑰	⑱	⑲		
電子マネー							交通系電子マネー					
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙			
							㉚	㉛	㉜			
							㉝	㉞				
他のキャッシュレス決済方法							㉟		㊱		㊲	

Q9 貴事業所でのキャッシュレス決済を導入した理由をお答えください。

(いくつでも)

1 新型コロナウイルス感染症対策の一環として	2 セミナーや決済営業担当の説明が必要だと思ったので
3 決済手数料の補助金があったので	4 決済端末機等の購入補助金があったので
5 顧客の多様なニーズに対応するため	6 支払作業の軽減のため
7 現金での管理の手間が省ける	8 消費者の嗜好などデータで簡単に動向が把握できる
9 系列会社等が導入しているため	10 その他()

⇒次頁に進みます

II キャッシュレス決済端末効果検証調査

Q10 (決済端末を新規に導入した事業所の方のみ)

貴事業所でのキャッシュレス決済を今まで導入しなかった理由をお答えください。(いくつでも)

1 手数料がかかるため	2 端末導入の費用がかかるため
3 決済の種類が多く必要なものが分からない	4 端末等の操作が難しい
5 初期費用や固定費用がかかるため	6 顧客が現金払いが主流なため
7 消費増大にはつながらないため	8 Wi-Fiの固定費用がかかる
9 その他 ()	10 特に必要と感じていなかった

Q11 キャッシュレス端末導入後(新規・乗り換え問わず)の貴事業所での現金及びキャッシュレス決済の割合についておおよそでお答えください。

1 クレジットカード・デビットカード (%)	2 QR・バーコード (%)
3 電子マネー (%)	4 交通系電子マネー (%)
5 現金 (%)	*合計が100%になるようにお願いします。

Q12 コロナ禍におけるキャッシュレス決済の支払いの増減についてお答えください。(ひとつだけ)

1 とても増えた	2 やや増えた	3 変わらない	4 少し減った	5 すごく減った
----------	---------	---------	---------	----------

Q13 Q12で「とても増えた」「やや増えた」と回答した方
どのタイプの決済方法が増えましたか。(いくつでも)

1 クレジットカード系	2 QR/バーコード系	3 電子マネー	4 交通系電子マネー
-------------	-------------	---------	------------

Q14 貴事業所でキャッシュレス決済対応のステッカー等で表示や周知をしていますか。(ひとつだけ)

1 全て表示している	2 一部のみ表示	3 全く表示していない
4 ステッカー等の申請中		

Q15 貴事業所でキャッシュレス決済を導入した感想をお答えください。(いくつでも)

1 非接触で安心して支払処理ができる	2 手数料が想像以上にかかる
3 決済の種類が多く客のニーズに応えられる	4 端末等の操作が難しい
5 消費増大につながっている	6 利用客に安心して決済してもらえる
7 消費増大にはつながっていない	8 Wi-Fiの固定費用がかかる
9 その他 ()	

Q16 コロナ禍のキャッシュレス決済の課題についてお答えください。(いくつでも)

1 非接触の場面を少なくする方法が難しい	2 決済端末本体の除菌の頻度や有無など分からない
3 スタッフがクレジットカードに直接触れることが利用者の不安感につながるか心配	4 スタッフの決済手順等の指導に時間がかかる
5 混雑時の決済対応に時間を要し密になる	6 言葉が通じない外国人客に時間を要する
7 その他 ()	8 特に問題はない

Q17 キャッシュレス決済を導入した後、売り上げの向上、または見込みについてお答えください。(ひとつだけ)

1 とても向上した(しろう)	2 やや向上した(しろう)	3 変わらない
----------------	---------------	---------

Q18 キャッシュレス決済を導入した満足度をお答えください。(ひとつだけ)

1 とても満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 とても不満
---------	--------	------	--------	---------

Q19 キャッシュレス決済の導入を推奨したいですか。(ひとつだけ)

1 大いにしたい	2 ややしたい	3 あまりしたくない	4 全くしたくない
----------	---------	------------	-----------

事業所名：	部署・課名：
-------	--------

ご協力ありがとうございました。

III. 沖縄県内の 3 地点における クレジットカードの利用件数・利用額 データ分析結果

Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

1. 目的

沖縄での2019年7月から10月と2020年の7月から10月のクレジットカードの利用件数及び利用額を比較し、コロナ禍におけるクレジットカードの利用件数や利用単価等の結果から今後のキャッシュレス推進の資料とする。

属性 利用月	【インバウンド観光客】 2019 年 7 月～10 月 2020 年 9 月～10 月 「入国制限期間（2020/4～8）の利用」 除く	【日本人・在住外国人】 2019 年 7 月～10 月 2020 年 7 月～10 月
抽出期間	2019 年 7～10 月売上金額上位 10 業種+その他（11 位以下を合算）。2020 年も同様。 ※上位 10 業種は、インバウンド消費の上位 10 業種	2019 年 7～10 月売上金額上位 10 業種+その他（11 位以下を合算）。2020 年も同様。 ※上位 10 業種は、日本人消費の上位 10 業種
抽出地点	①那覇市国際通り（松尾 1・2、牧志 1・2・3、久茂地 1・2・3、安里 1・2 丁目） ②北谷町 ③北部(本部町、名護市、今帰仁村)	
在住外国人 の抽出定義	※在住者定義は、以下の利用がある利用者 「年 6 カ月以上利用（2019 年 7 月～10 月⇒期間：2018 年 11 月～2019 年 10 月、 2020 年 7 月～10 月⇒期間：2019 年 11 月～2020 年 10 月）で判定 「在住関連業種（税金・不動産賃料・光熱費など）の利用（同期間）」	
業種の扱い	・業種の「その他小売り」について 非在住者の場合は、主に「民芸品、土産物品」「雑貨」など、在住者の場合は、 主に「生活雑貨」「書籍、CD」「家具・インテリア」など幅広く含む ・業種の「飲食小売り」について 「飲食小売り」は、「持ち帰りの食品販売（例. ベーカリー、アイスクリーム屋）」 「和洋菓子店（土産物含め）」などを含む ・「業種」の「百貨店」について 沖縄県内には百貨店とみなしている商業施設は 1 か所程であるが、各事業者が百貨店 と業者登録しているものを対象としているため、それらを含めた件数・金額である	
※本クレジットカード消費データ：VISA、Master、銀聯などを利用した方 ※留意事項：本データは、VJA グループが契約する加盟店における消費額及び件数につき、県内でクレ ジットカードにて支払われた全ての消費額ではない、また現金での消費額は含まれていない		

■ VJA グループ

VJAは、日本における「Visaカード」発行会社の統括機関として、ビザ・ジャパン(株)として1980年5月に設立。

VJAに加盟する企業は59社、カード会員数はVJA全体で約4千3百万人。



(1) 事業者の業種分類

本分析では、以下の業種分類にてクレジット決済の回数、金額として整理を行っています。

加盟店業種分類	
1 百貨店	18 飲食店・レストラン
2 スーパー	19 居酒屋
3 ショッピングセンター	20 バー・ナイトクラブ
4 家電量販店	21 飲食小売り
5 ドラッグストア	22 病院・クリニック
6 ディスカウントストア	23 美容・エステ
7 コンビニ・酒屋・商店	24 レジャー(ゴルフ、映画、カラオケ等)
8 衣服小売り	25 旅行代理店
9 衣服ブランド・メーカー	26 寺社仏閣・城・公園
10 衣服小物	27 美術館・博物館・隣接ショップ
11 貴金属・時計	28 その他サービス
12 ホームセンター	29 航空会社
13 免税店	30 電車
14 空港店舗	31 バス・タクシー
15 ネット販売	32 レンタカー・ガソリンスタンド
16 その他小売	33 その他交通
17 ホテル・旅館(オンライン含む)	

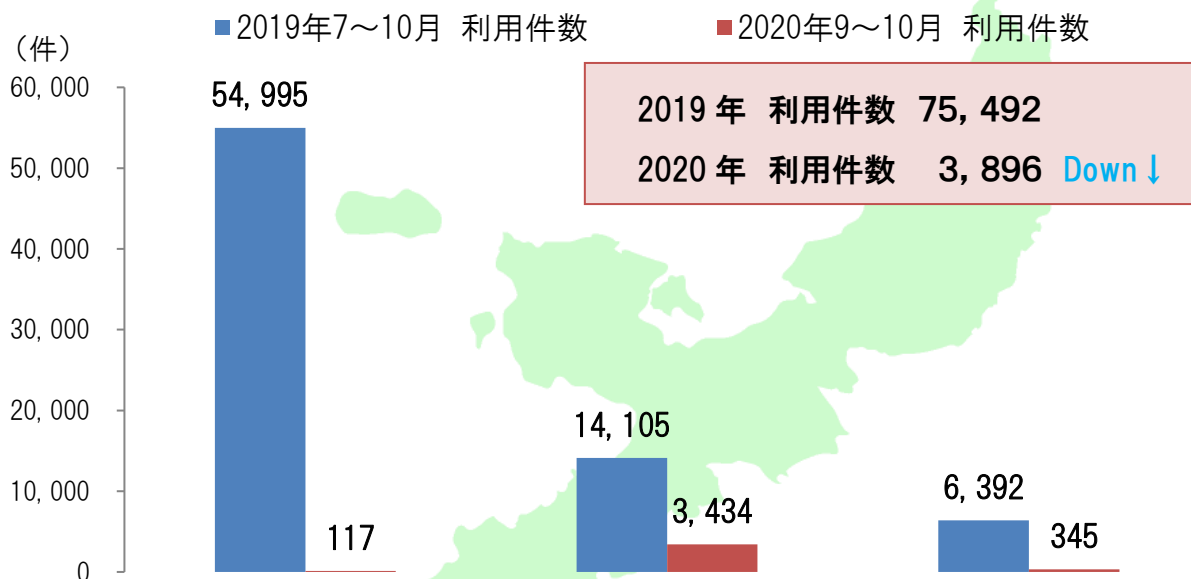
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

2. インバウンド客

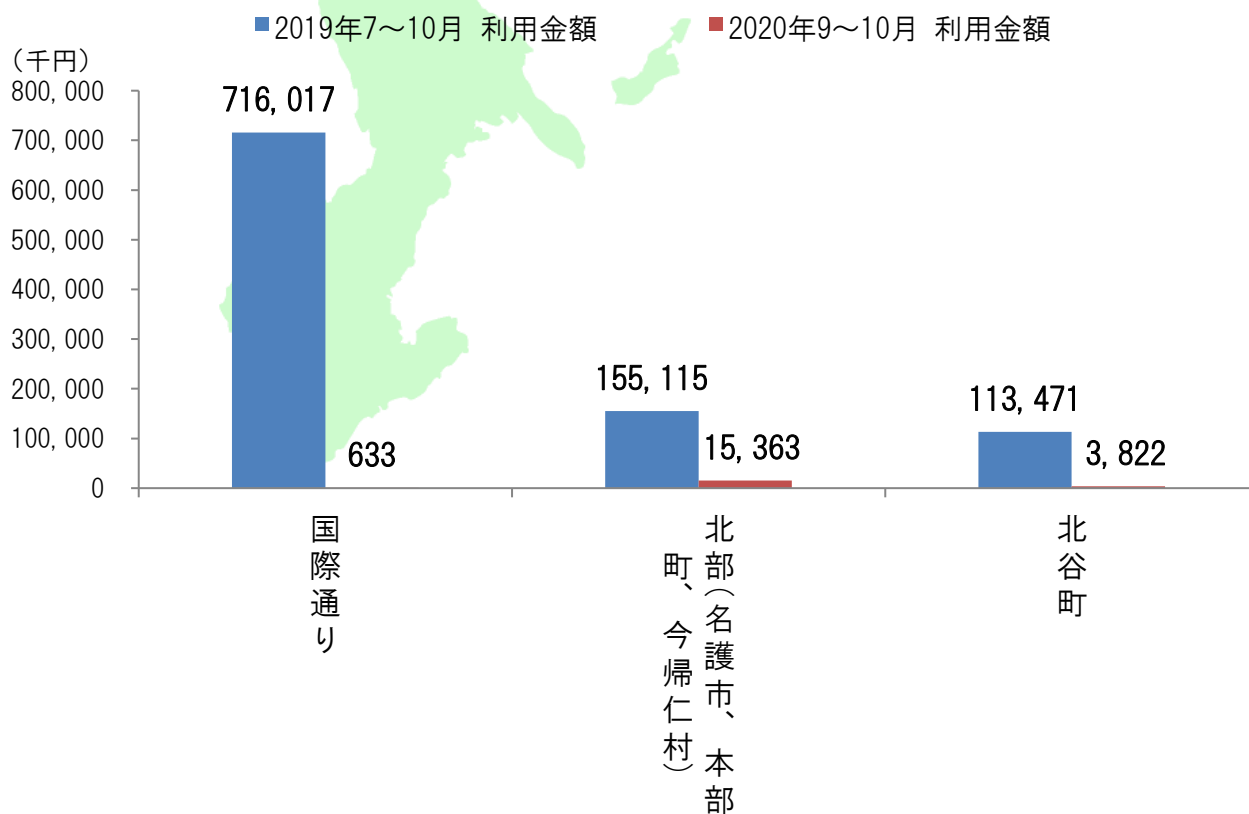
(1) インバウンド客の利用概要

地点別では、2019 年は国際通りが 54,995 件のキャッシュレスの利用件数及び利用金額が最も多くなっています。2020 年では、コロナ禍の影響で利用件数及び利用金額も相当程度減少しており、国際通りが最も影響を受けた結果となりました。

図表1地点別インバウンド客利用件数



図表2地点別インバウンド客利用金額

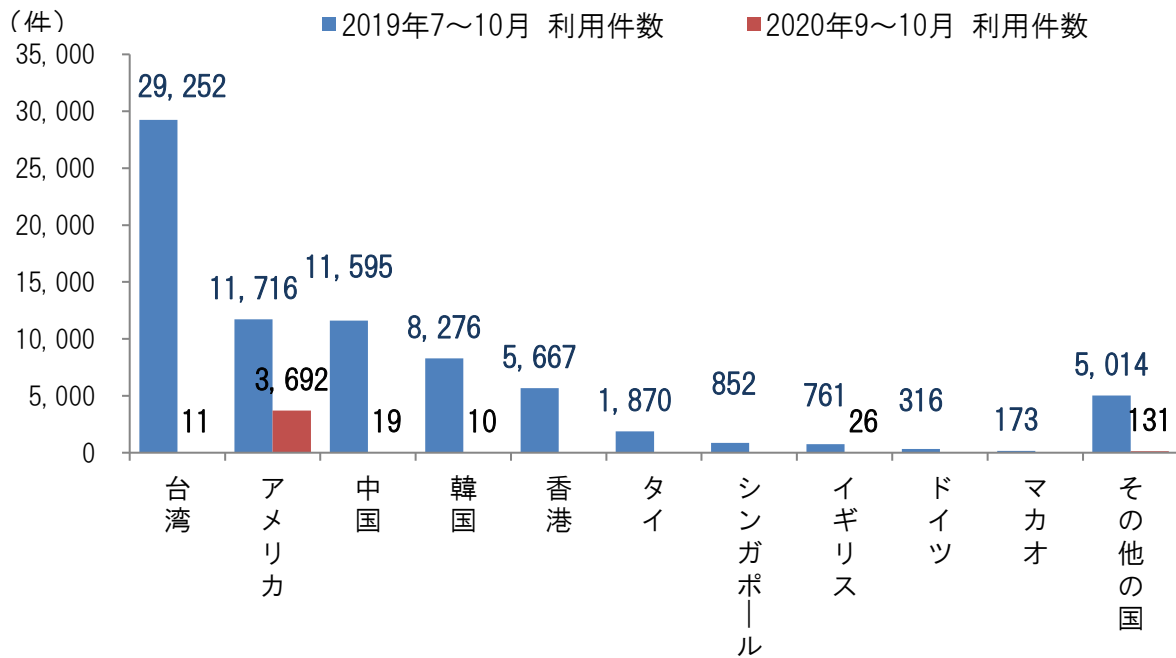


※「入国制限期間（2020 年 4 月～8 月）」のため 2020 年 9 月と 10 月のみ

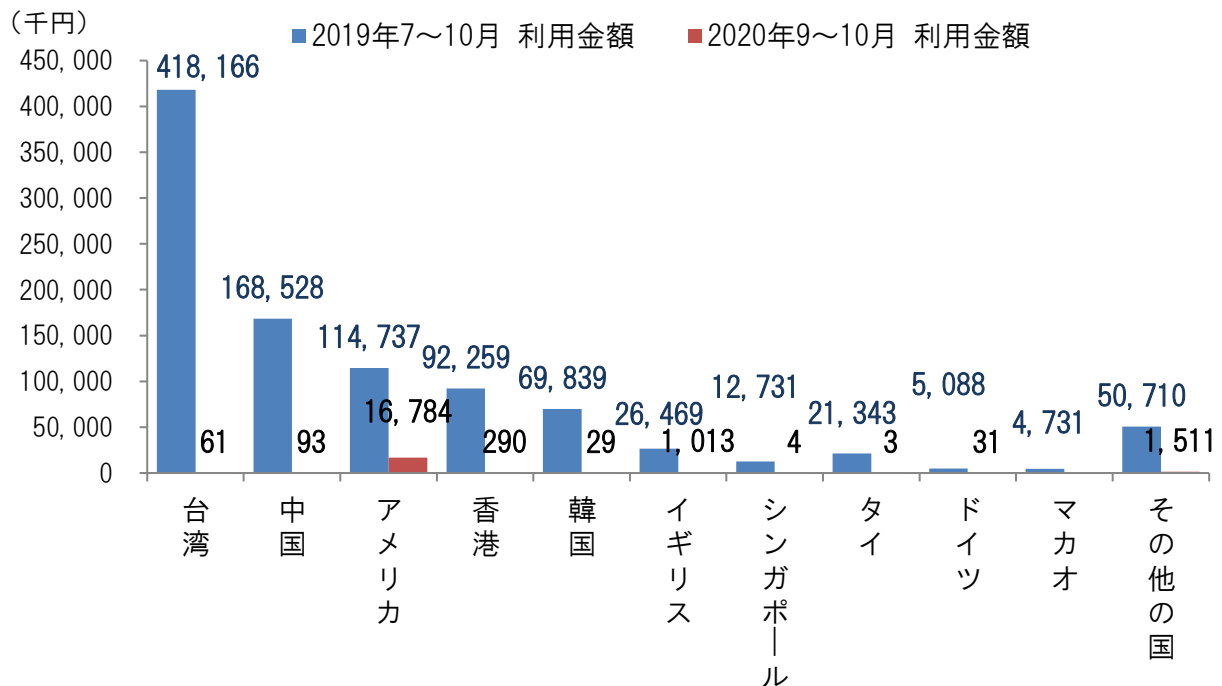
(2) 国・地域、業種別インバウンド客の消費概要

国・地域別では、2019年は台湾が件数・金額とも最も多くなっています。2020年はコロナ禍でインバウンドの入国制限等により利用そのものがほぼない状況です。アメリカで若干利用件数があるものの、その他の国・地域では利用そのものが極めて少なくなっています。

図表3 国・地域別インバウンド客利用件数



図表4 国・地域別インバウンド客利用金額

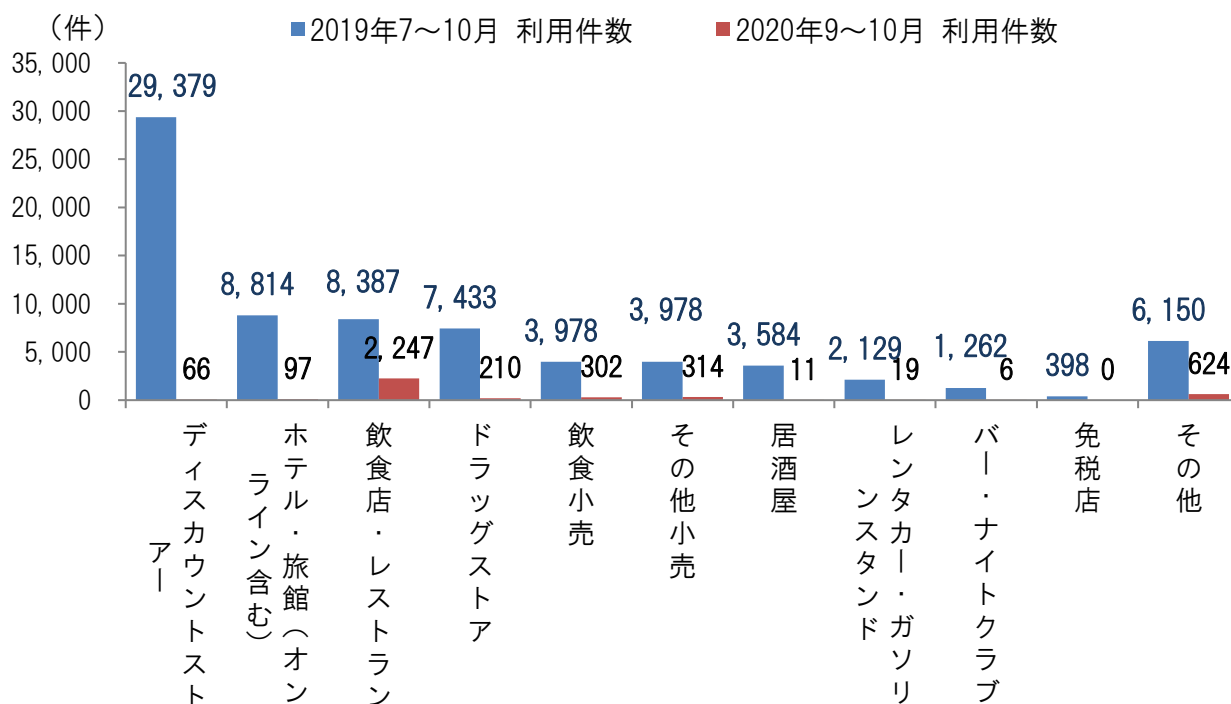


※「入国制限期間（2020年4月～8月）」のため2020年9月と10月のみ

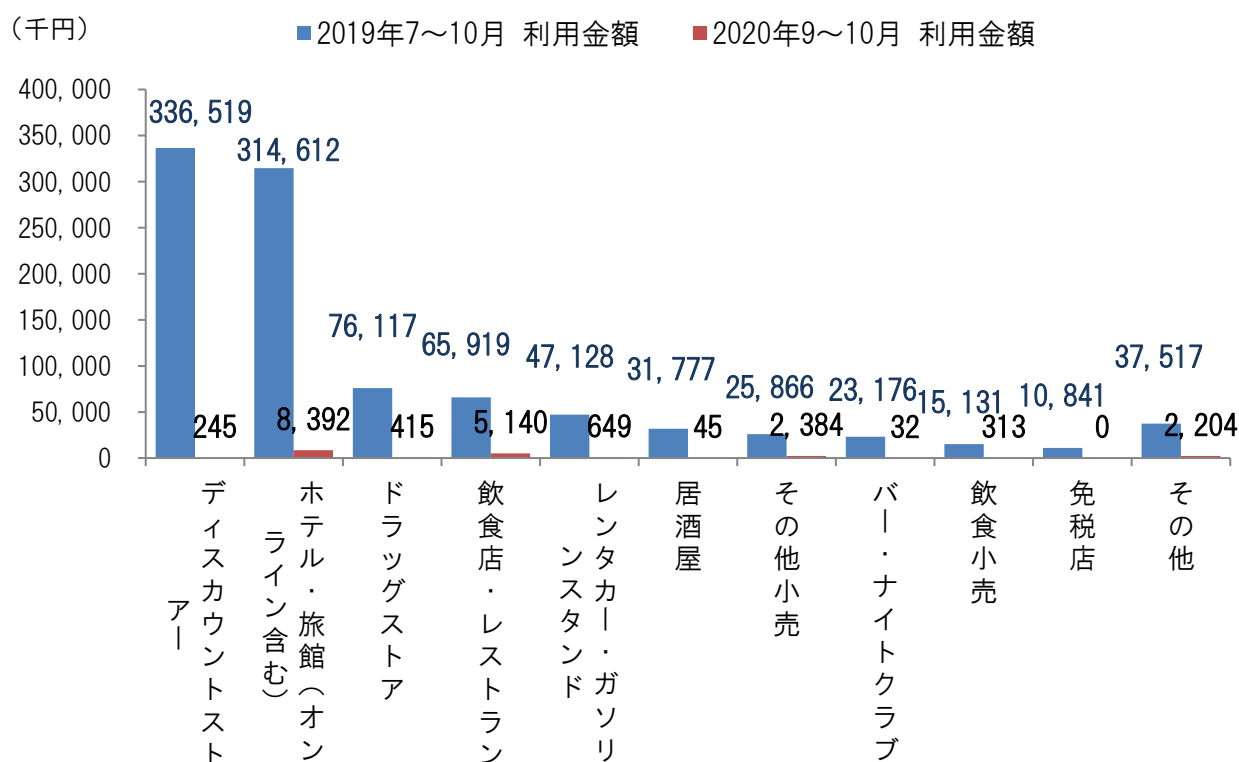
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別では、2019 年はディスカウントストアが件数・金額とも最も多くなっています。ホテル・旅館は単価が高いため、利用件数の割合は 8,814 件ですが、利用額は 3 億 1 千万円程度とディスカウントストアの 3 億 3 千万円程度にせまっています。2020 年は、飲食店・レストランの利用件数が他の業種と比べてやや目立っていますがその他は少ない利用件数となりました。

図表5業種別インバウンド客利用件数



図表6業種別インバウンド客利用金額



※「入国制限期間（2020 年 4 月～8 月）」のため 2020 年 9 月と 10 月のみ

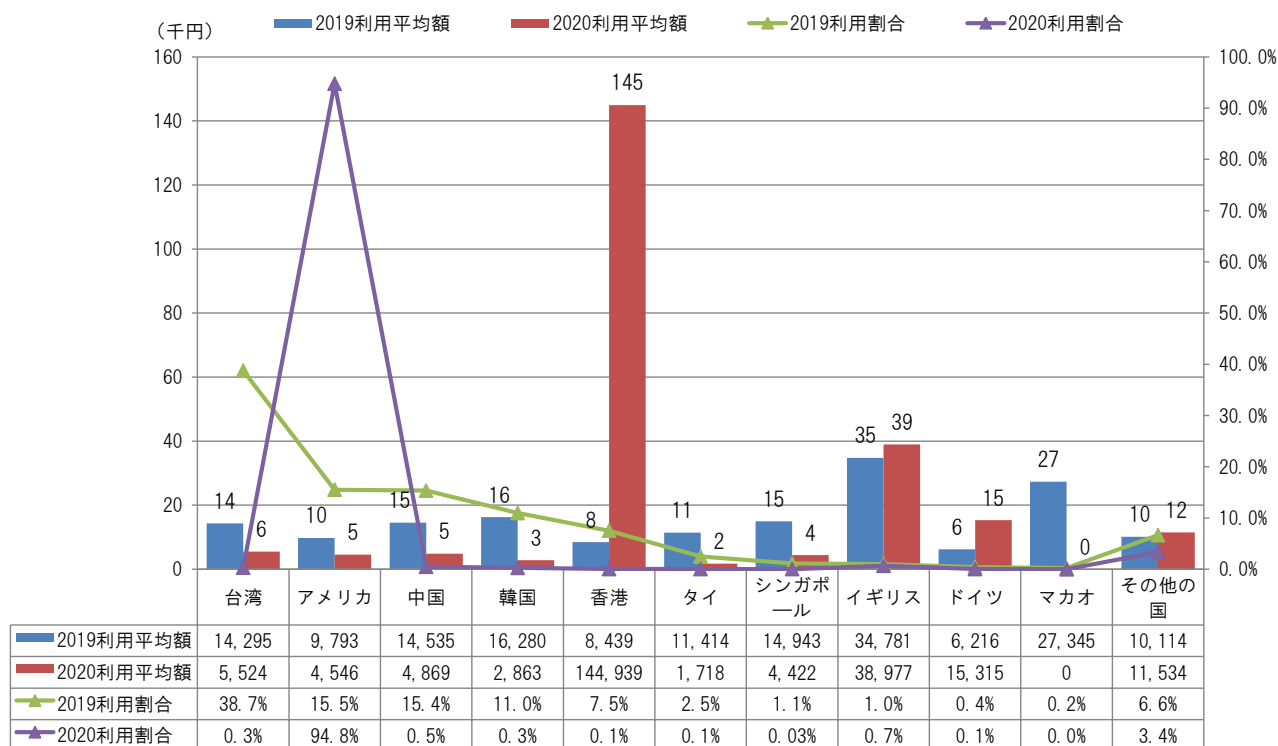
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

(3) インバウンド客の利用平均額及び利用割合

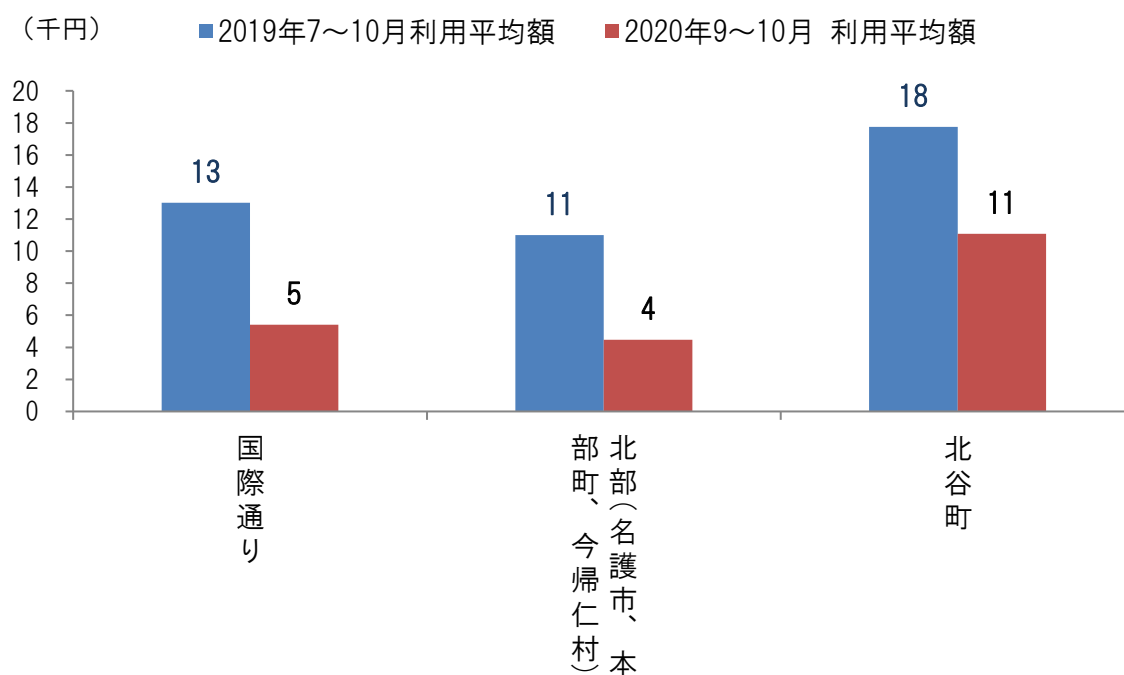
利用平均額では、2019 年、2020 年ともイギリスの利用平均額が他国より高くなっています。

なお、香港の利用件数が2 件のため利用平均額は参考とします。

図表7国・地域別インバウンド客利用平均額



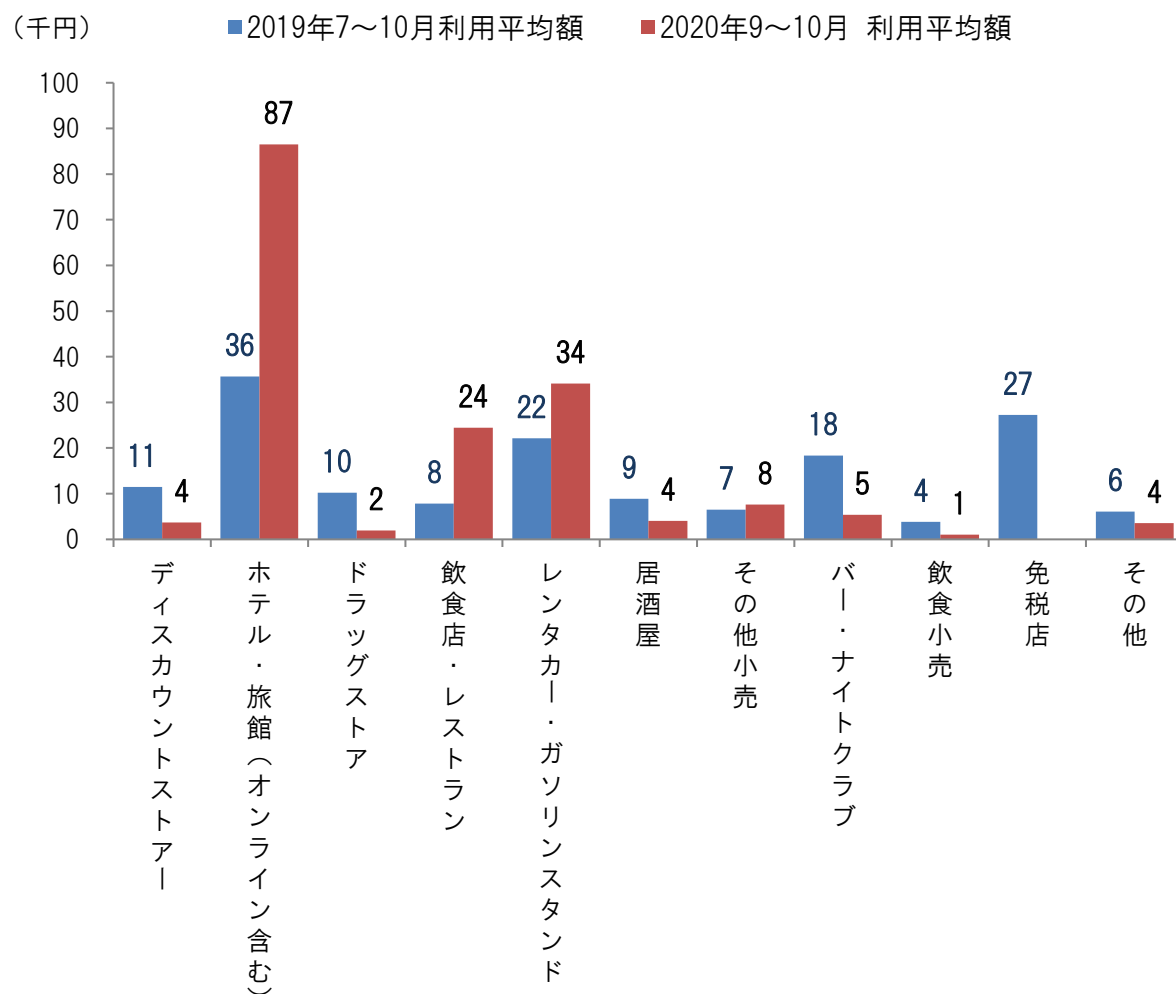
図表8地点別インバウンド客利用平均額



※「入国制限期間（2020/4～8）の利用」のため2020年9月と10月のみ

Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

図表9業種別インバウンド客利用平均額



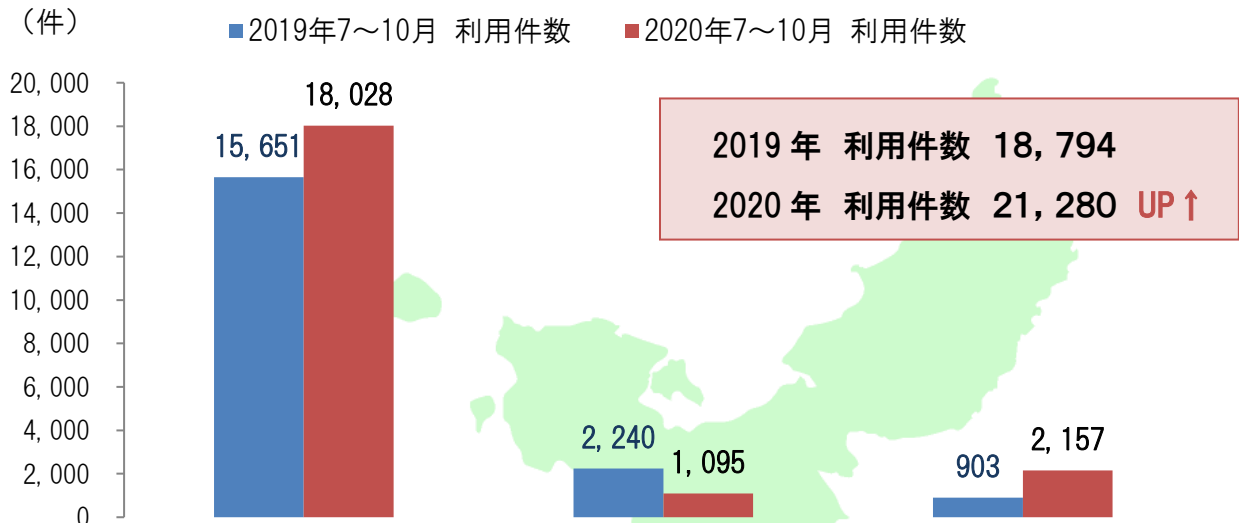
※「入国制限期間（2020/4～8）の利用」のため 2020 年 9 月と 10 月のみ

3. 在住外国人

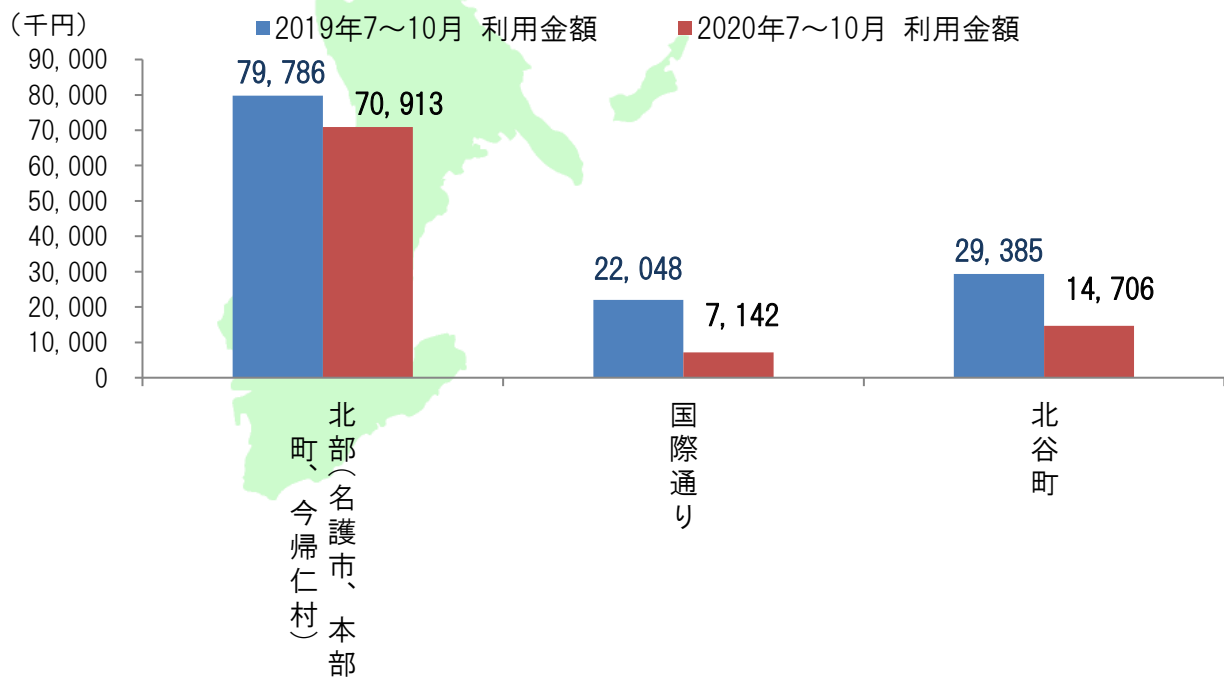
(1) 在住外国人の利用概要

在住外国人における利用件数について、2020年の利用件数は21,280件で2019年の18,794件を上回っています。地点別をみると、「北部」と「北谷町」の利用件数は2020年のほうが増加していますが、「国際通り」の利用件数は減少しています。

図表10 地点別在住外国人利用件数



図表11 地点別在住外国人利用金額

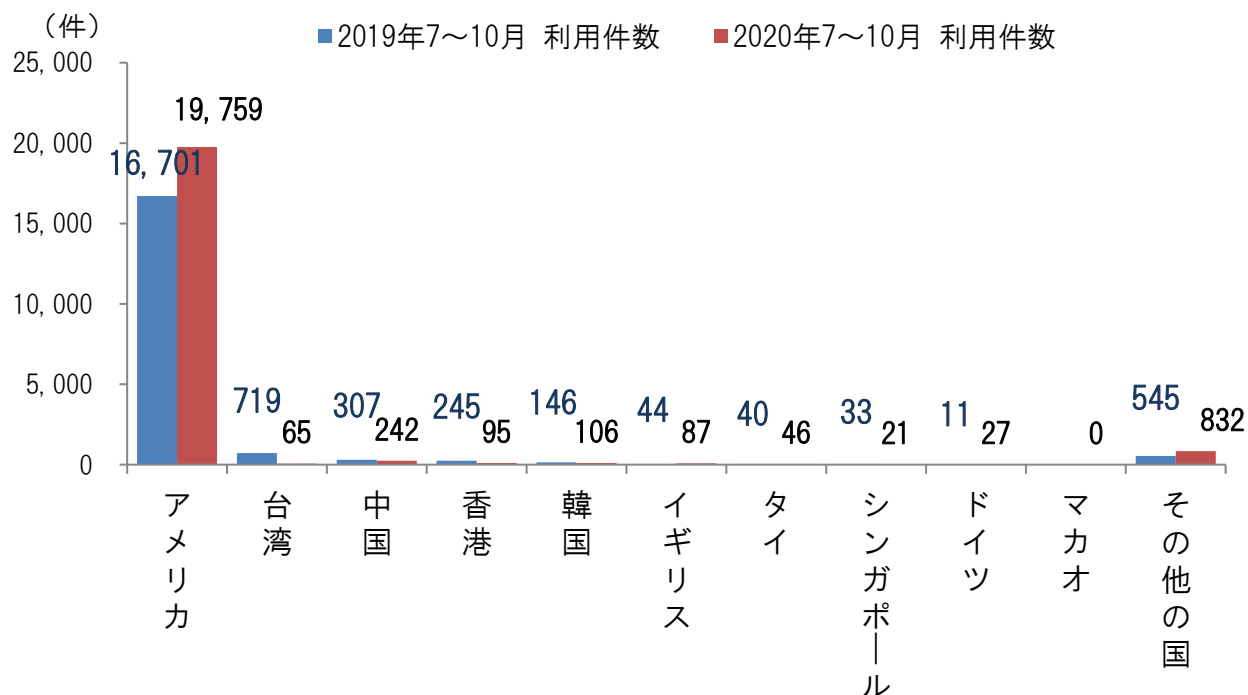


Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

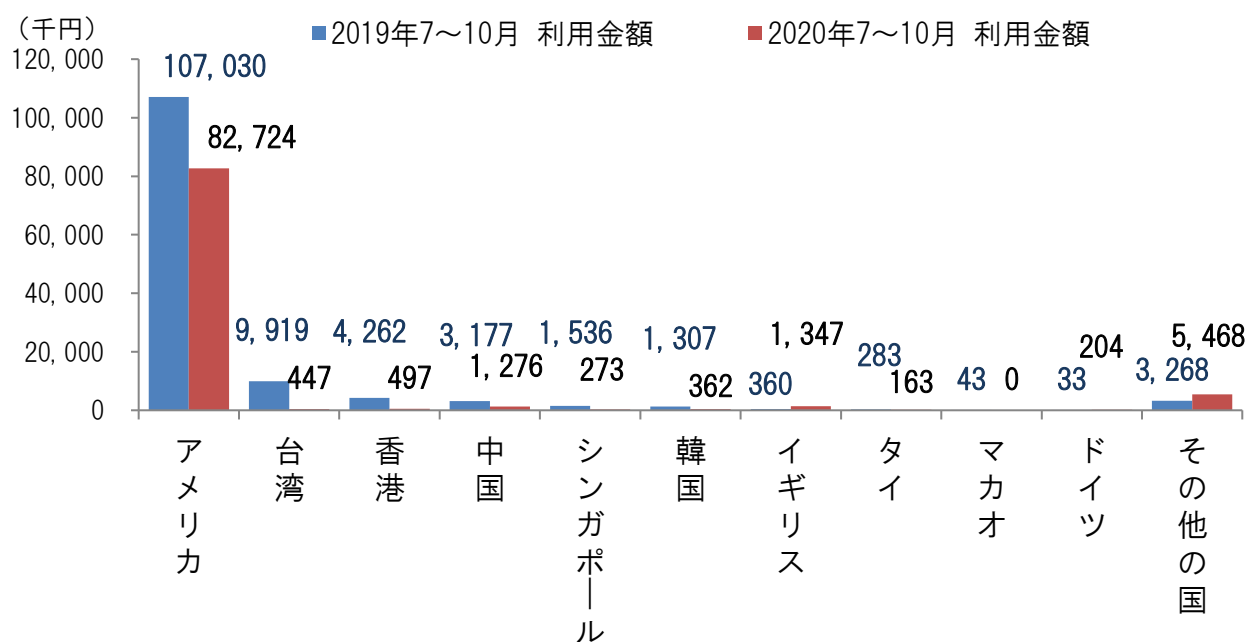
(2) 国・地域、業種別在住外国人の消費概要

国・地域別をみると、「アメリカ」の利用件数は2020年に19,759件となり、2019年より3,058件を増加しています。沖縄の米軍人やその家族は多く住んでいるため、利用件数も明らかに多くなっています。

図表12 国・地域別在住外国人利用件数



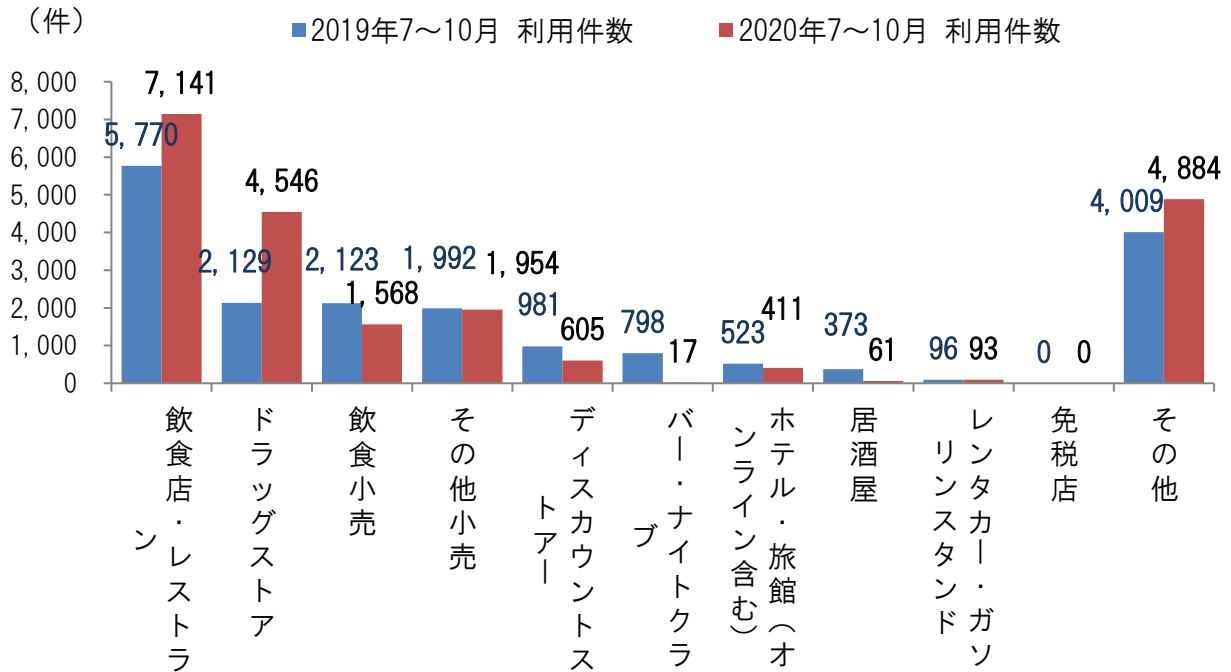
図表13 国・地域別在住外国人利用金額



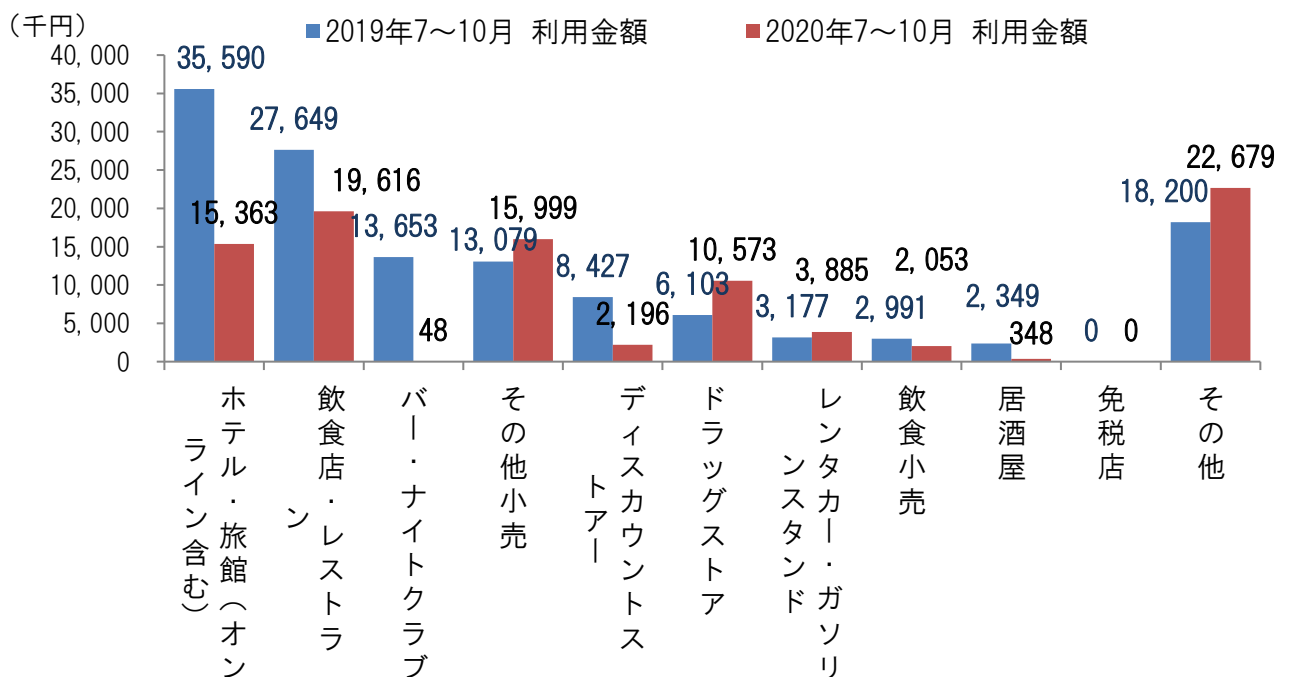
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別をみると、2020年の利用件数について、「飲食店」が7,141件と最も多く、次いで「ドラッグストア」が4,546件、「その他小売」が1,954件と続きます。2019年より増加している業種は「飲食店」と「ドラッグストア」となります。

図表14 業種別在住外国人利用件数



図表15 業種別在住外国人利用金額



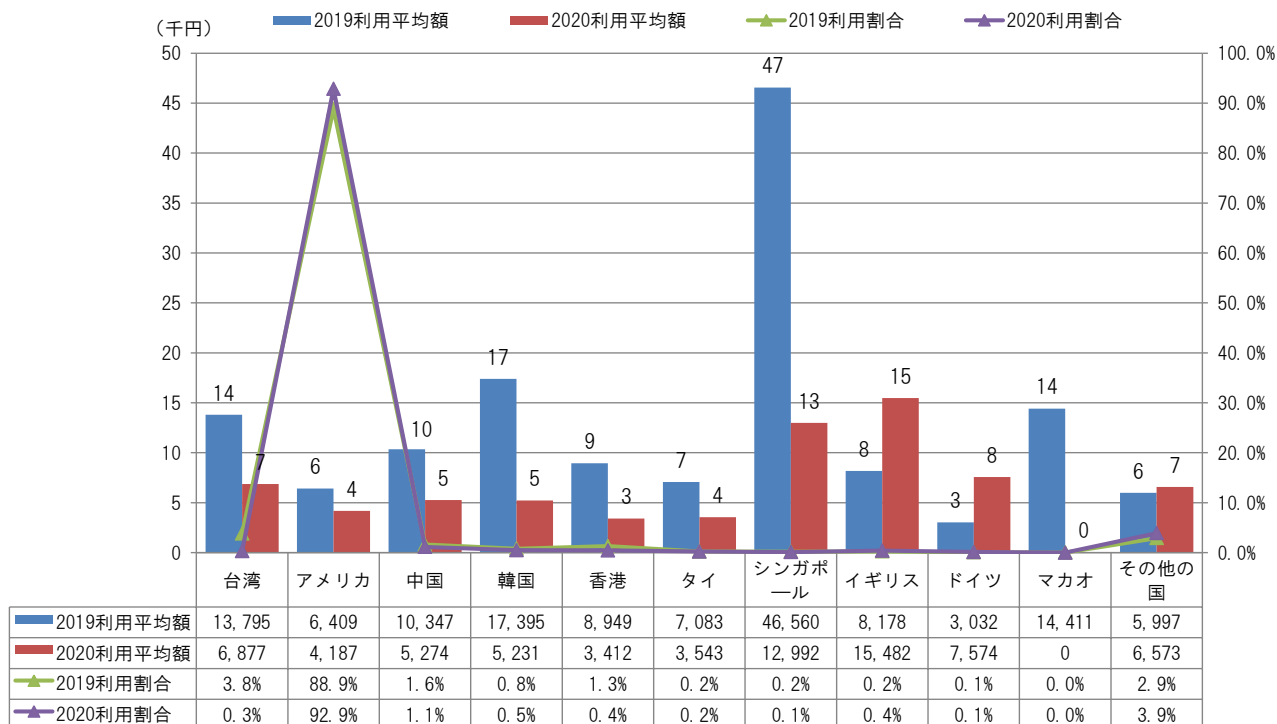
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

(3) 在住外国人の利用平均額及び利用割合

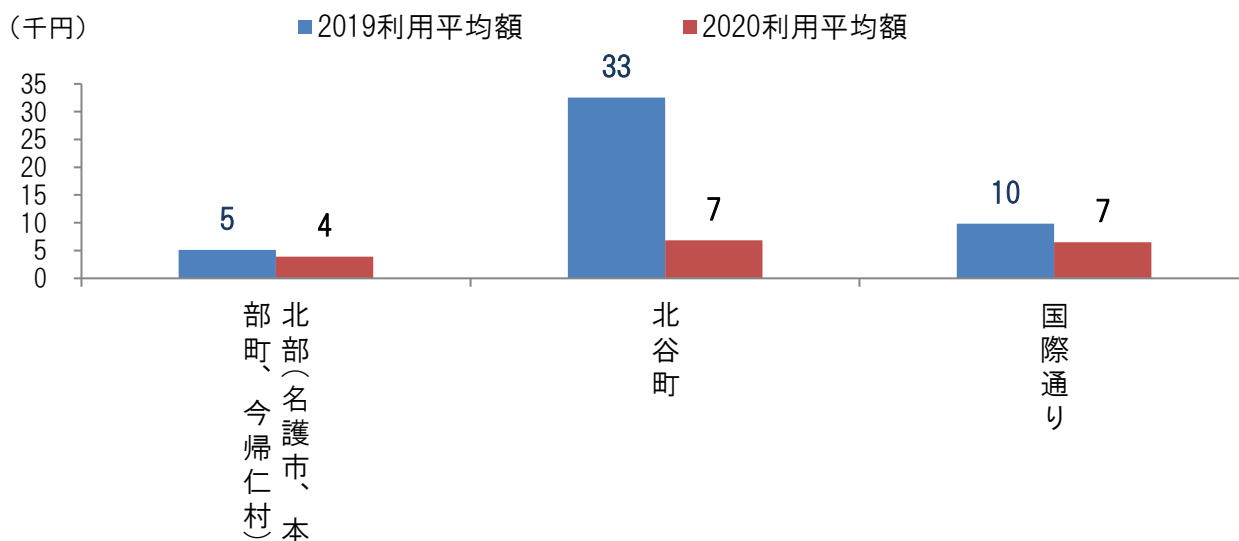
在住外国人の利用平均額について、2020 年は「イギリス」が 15,482 円と最も多く、次いで「シンガポール」が 12,992 円と続きます。アメリカは、利用割合が最も多いが、利用平均額は 2019 年及び 2020 年ともに低くなっています。

地点別をみると、2020 年に「国際通り」と「北谷町」は 7,000 円、「北部」は 4,000 円となり、3 地点ともに 2019 年より平均利用額は減少しています。

図表16 国・地域別在住外国人利用平均額



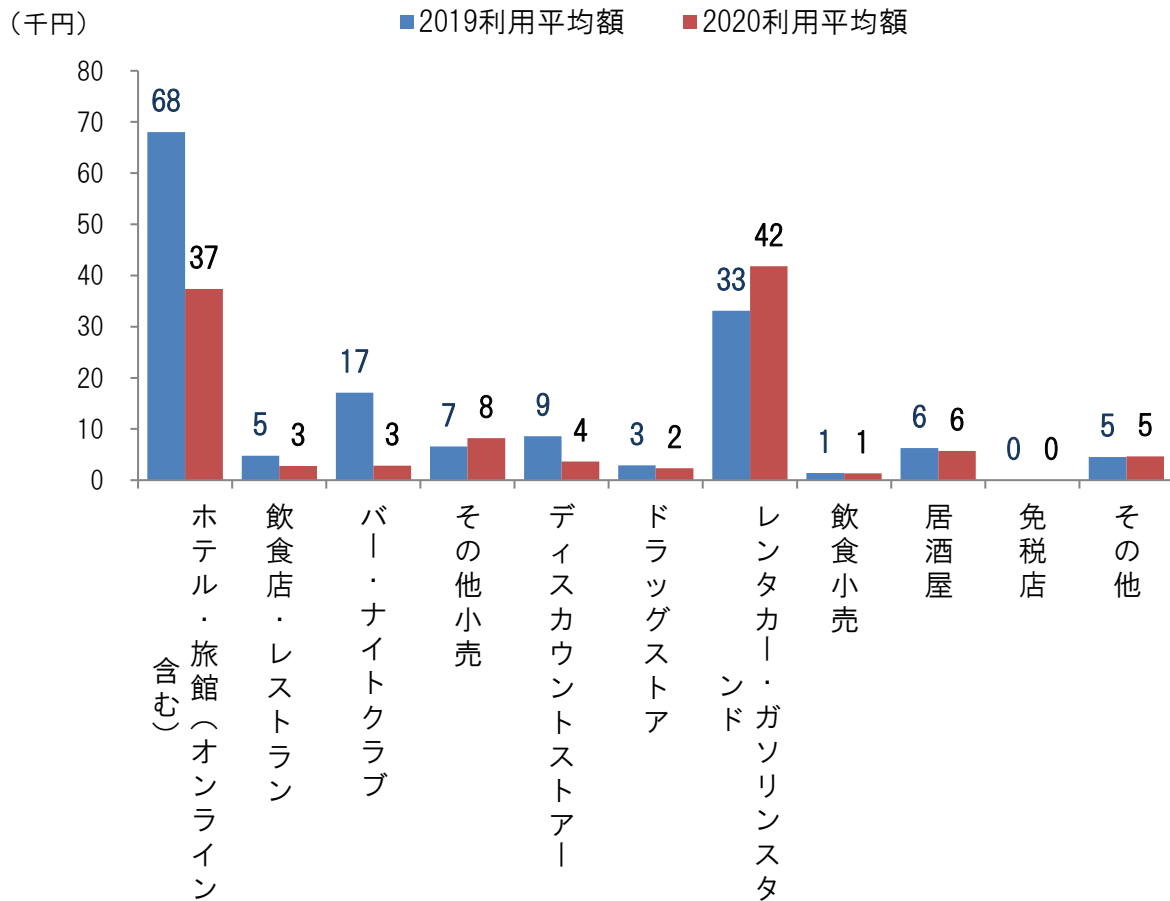
図表17 地点別在住外国人利用平均額



Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別をみると、2020 年利用平均額は「レンタカー・ガソリンスタンド」が 42,000 円と最も多く、「ホテル・旅館（オンライン含む）」が 37,000 円、「居酒屋」が 6,000 円と続きます。2019 年より増加しているのは「レンタカー・ガソリンスタンド」と「その他小売」となります。

図表18 業種別在住外国人利用平均額



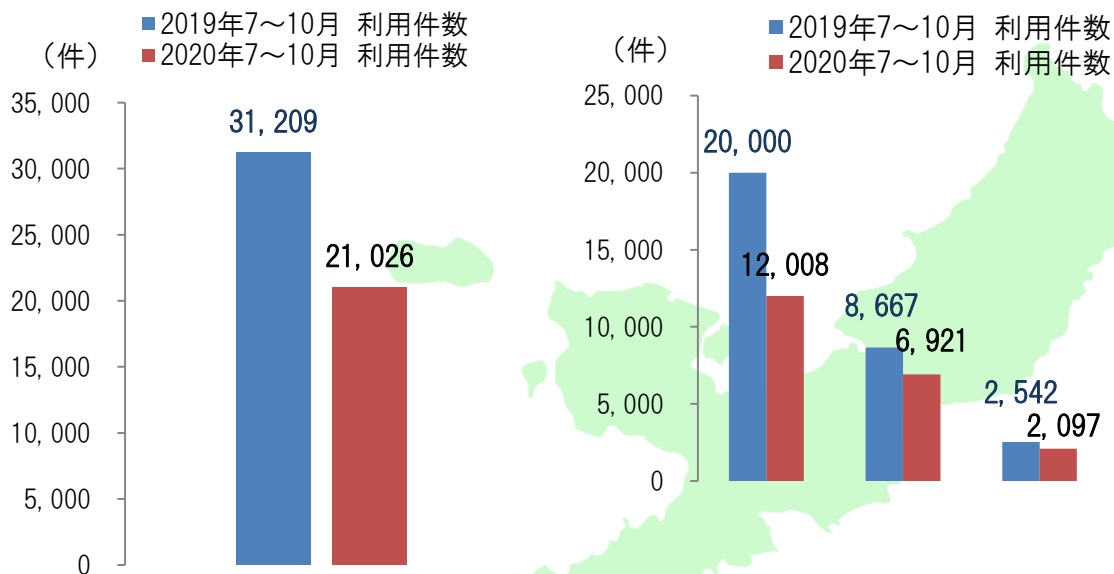
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

4. 県外日本人客

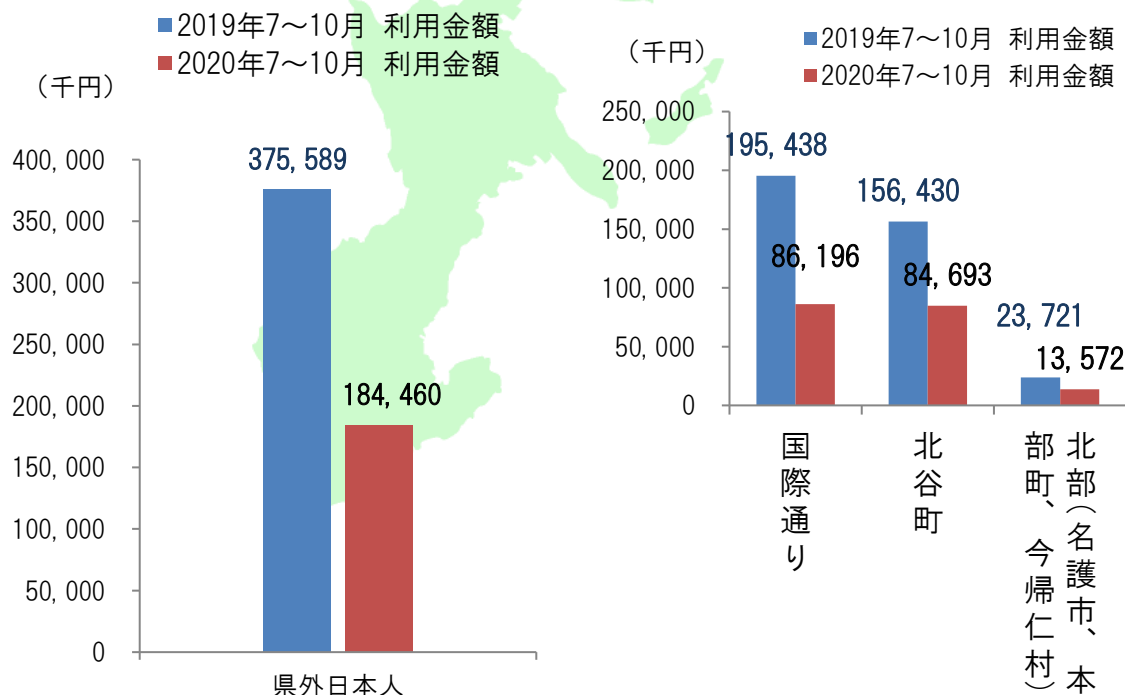
(1) 県外日本人客の利用概要

県外日本人客におけるクレジットカード利用件数について、2020年の利用件数は21,026件で、2019年の31,209件を下回っています。地点別をみると、2020年の利用件数は「国際通り」が12,008件と最も多く、次いで「北谷町」が6,921件、「北部」が2,097件となります。

図表19 地点別県外日本人客利用件数



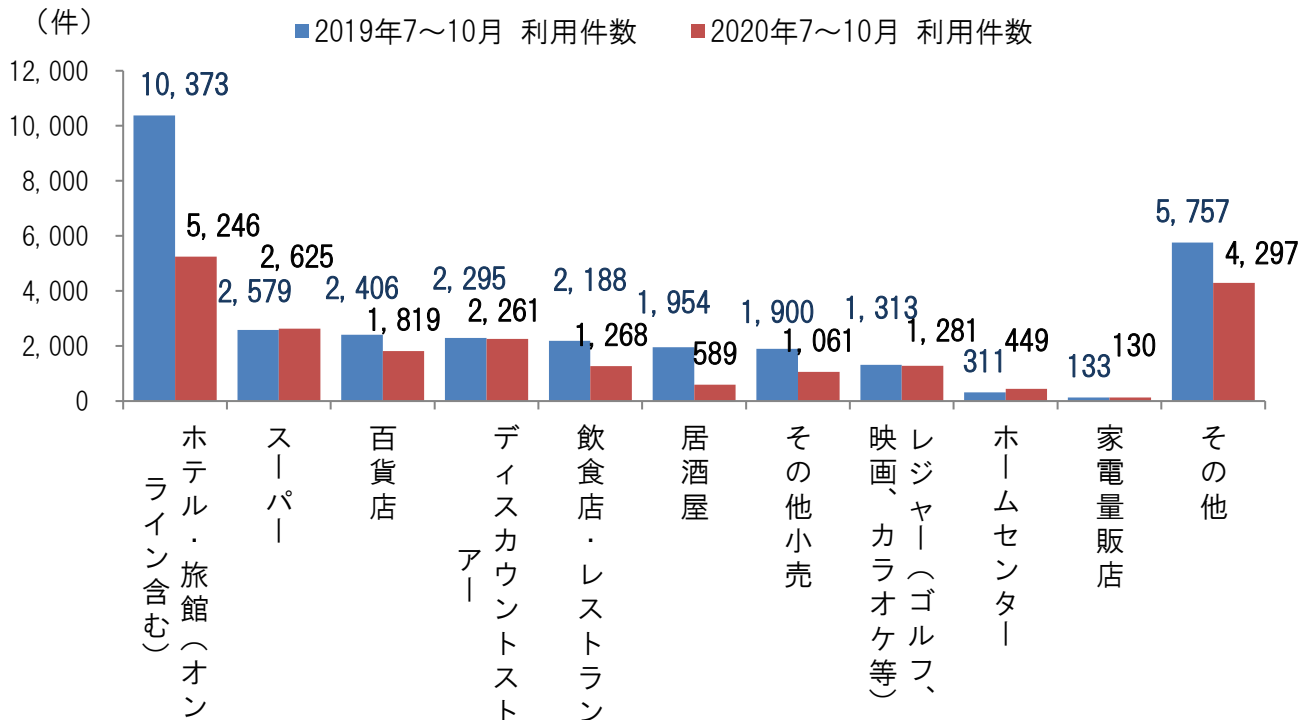
図表20 地点別県外日本人客利用金額



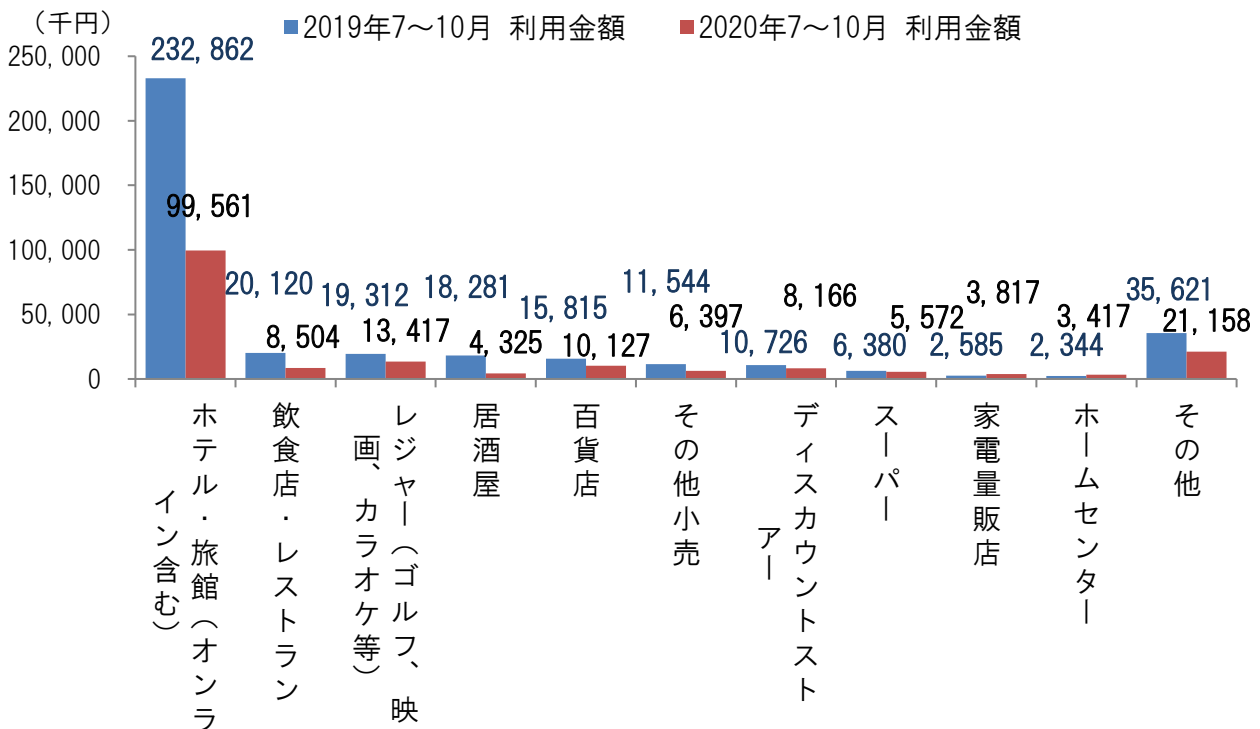
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別をみると、2020年の利用件数について、「ホテル」が5,246件と最も多く、次いで「スーパー」が2,625件、「ディスカウントストア」が2,261件と続きます。2019年より増加している業種は「スーパー」のみとなります。

図表21 業種別県外日本人客利用件数



図表22 業種別県外日本人客利用金額

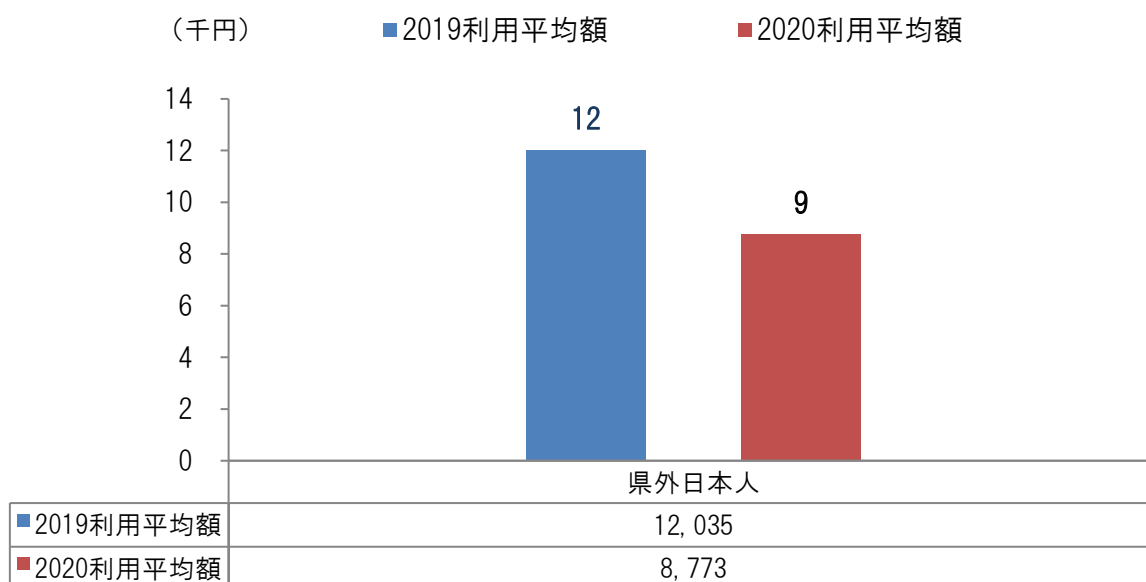


Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

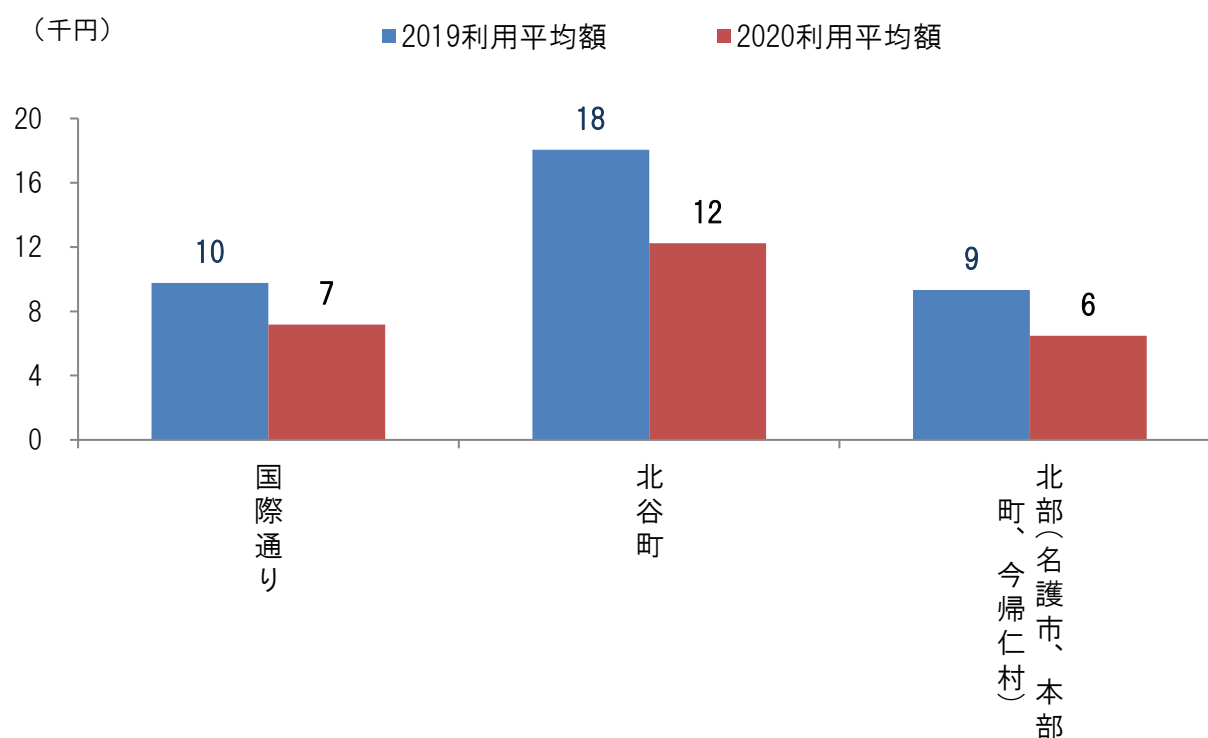
(2) 県外日本人客の利用平均額及び利用割合

県外日本人の利用平均額について、2020 年は 9,000 円となり、2019 年より 3,000 円減少しています。地点別をみると、「北谷町」は 12,000 円と最も多く、次いで「国際通り」は 7,000 円、「北部」は 6,000 円となります。3 地点ともに 2019 年より利用平均額が減少しています。

図表23 県外日本人客 利用平均額



図表24 地点別県外日本人客 利用平均額



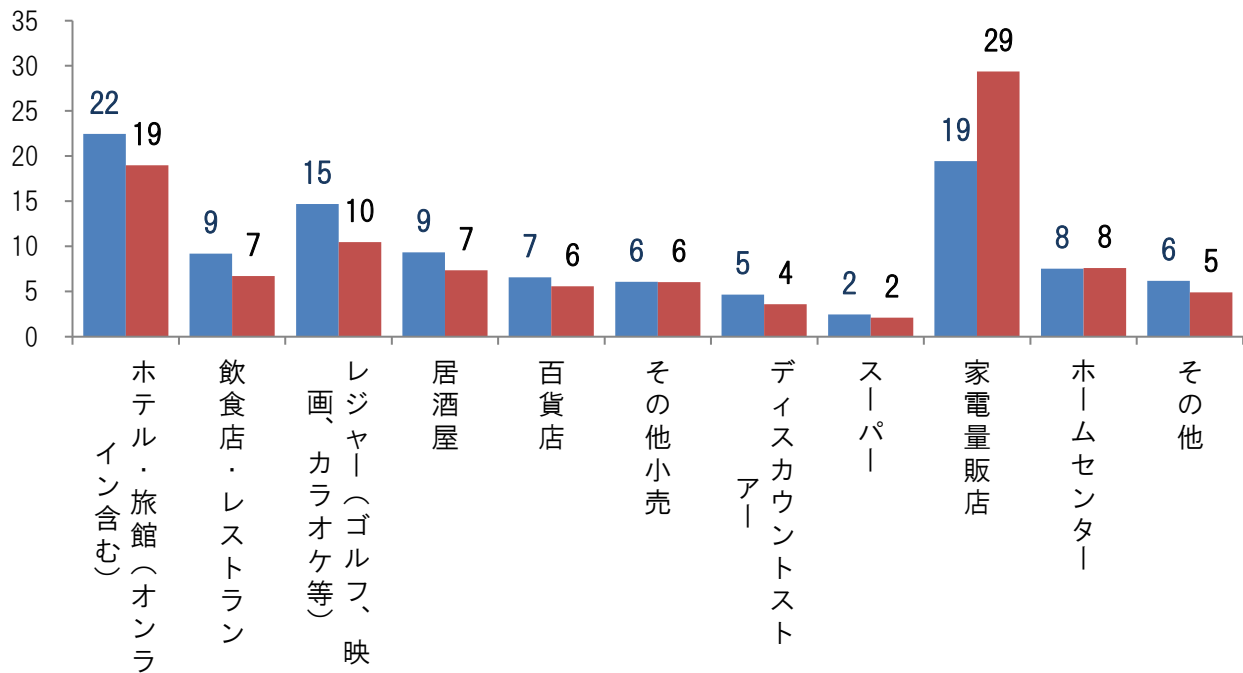
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別をみると、2020 年利用平均額は「家電量販店」が 29,000 円と最も多く、「ホテル・旅館（オンライン含む）」が 19,000 円、「レジャー（ゴルフ、映画、カラオケ等）」が 10,000 円と続きます。2019 年より増加しているのは「家電量販店」のみです。

図表25 業種別県外日本人客 利用平均額

（千円）

■ 2019利用平均額 ■ 2020利用平均額



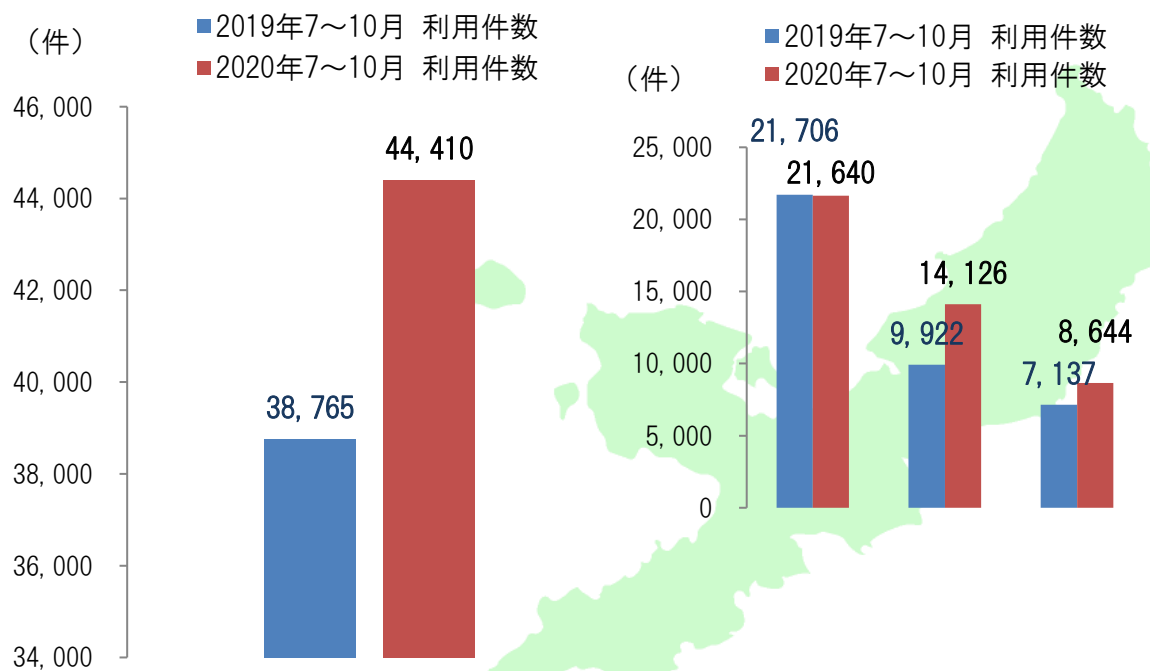
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

5. 県内在住日本人

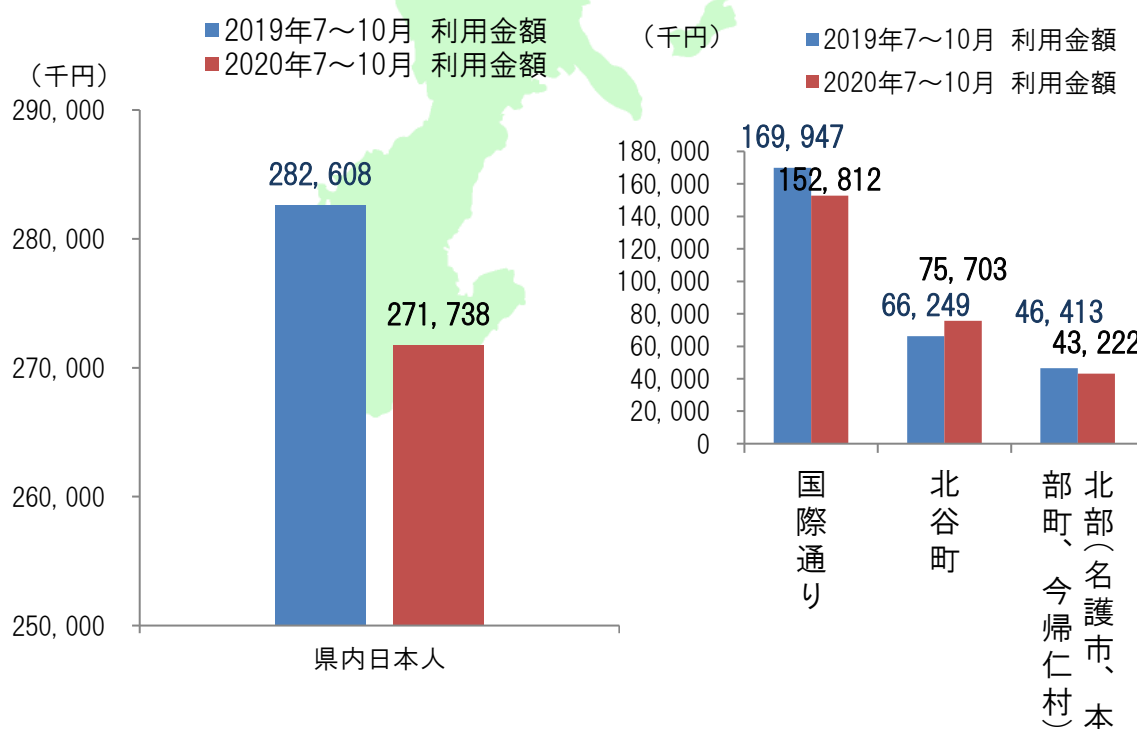
(1) 県内在住日本人の利用概要

県内在住日本人における利用件数について、2020年の利用件数は44,410件で、2019年の38,765件を大幅に上回っています。地点別をみると、2020年の利用件数は「国際通り」が21,640件と最も多く、次いで「北谷町」が14,126件、「北部」が8,644件となります。「北谷町」と「北部」は2020年で増加しており、「国際通り」の利用件数は66件減少しています。

図表26 地点別県内在住日本人利用件数



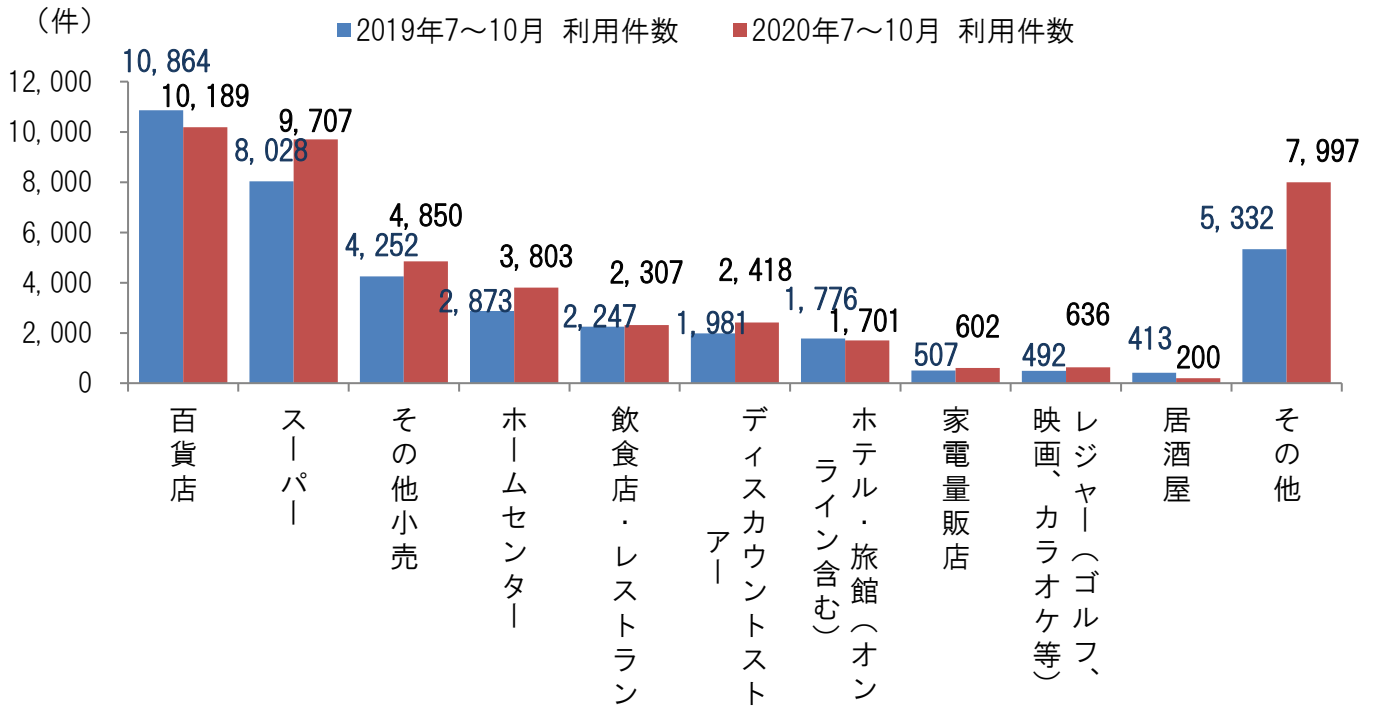
図表27 地点別県内在住日本人利用金額



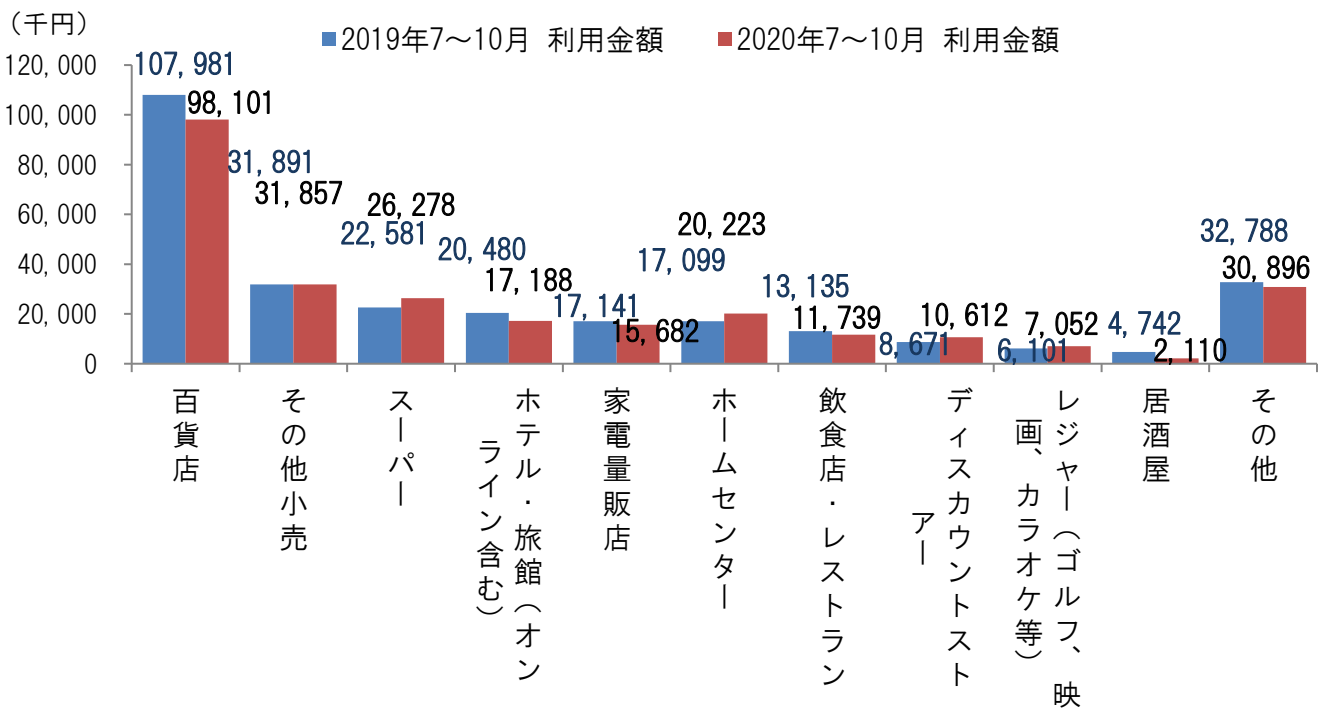
Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別をみると、2020年の利用件数について、「百貨店」が10,189件と最も多く、次いで「スーパー」が9,707件、「その他小売」が4,850件と続きます。ほとんどの業種は2019年より増加していますが、減少している業種は「百貨店」、「ホテル・旅館（オンライン含む）」、「居酒屋」です。

図表28 業種別県内在住日本人利用件数



図表29 業種別県内在住日本人利用金額

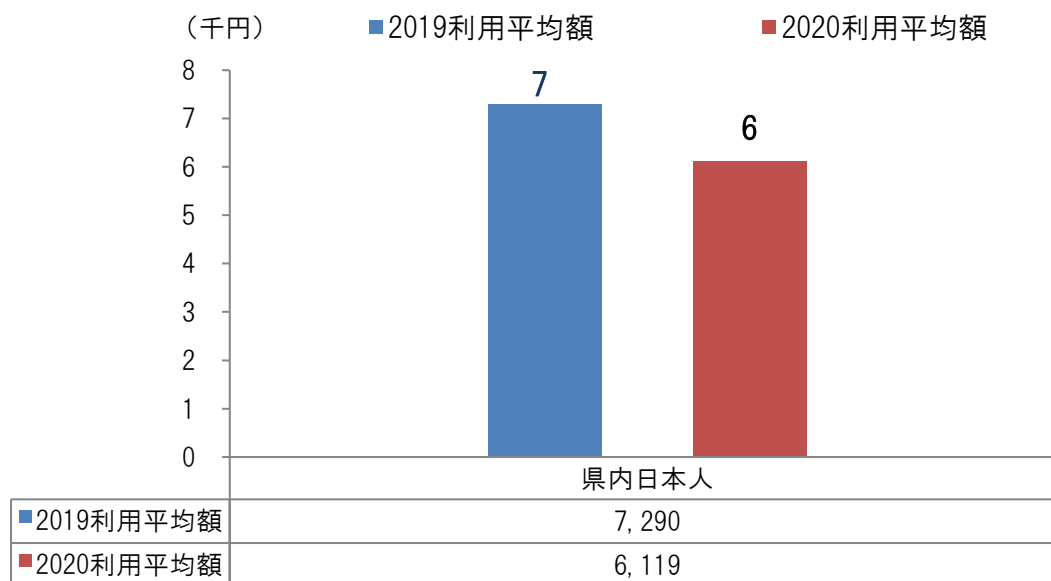


Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

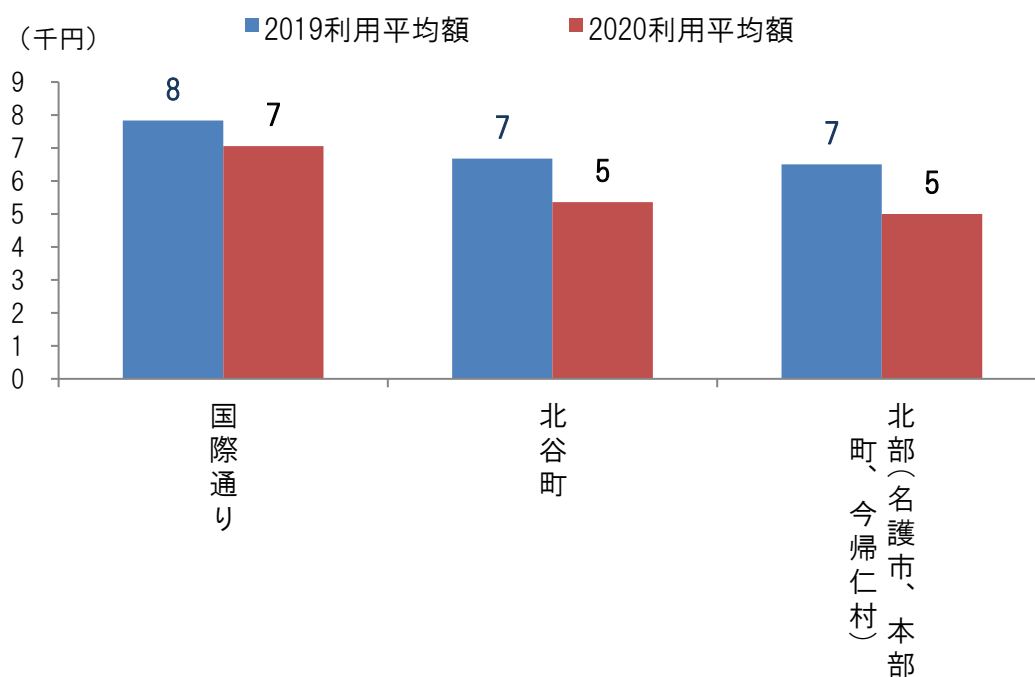
(2) 県内在住日本人の利用平均額及び利用割合

県内在住日本人の利用平均額は、2020 年は 6,000 円となり、2019 年より 1,000 円減少しています。地点別をみると、2020 年の平均額は「国際通り」が 7,000 円と最も多く、次いで「北谷町」と「北部」は 5,000 円となります。3 地点ともに 2019 年より利用平均額は減少しています。

図表30 県内在住日本人の利用額 利用平均額



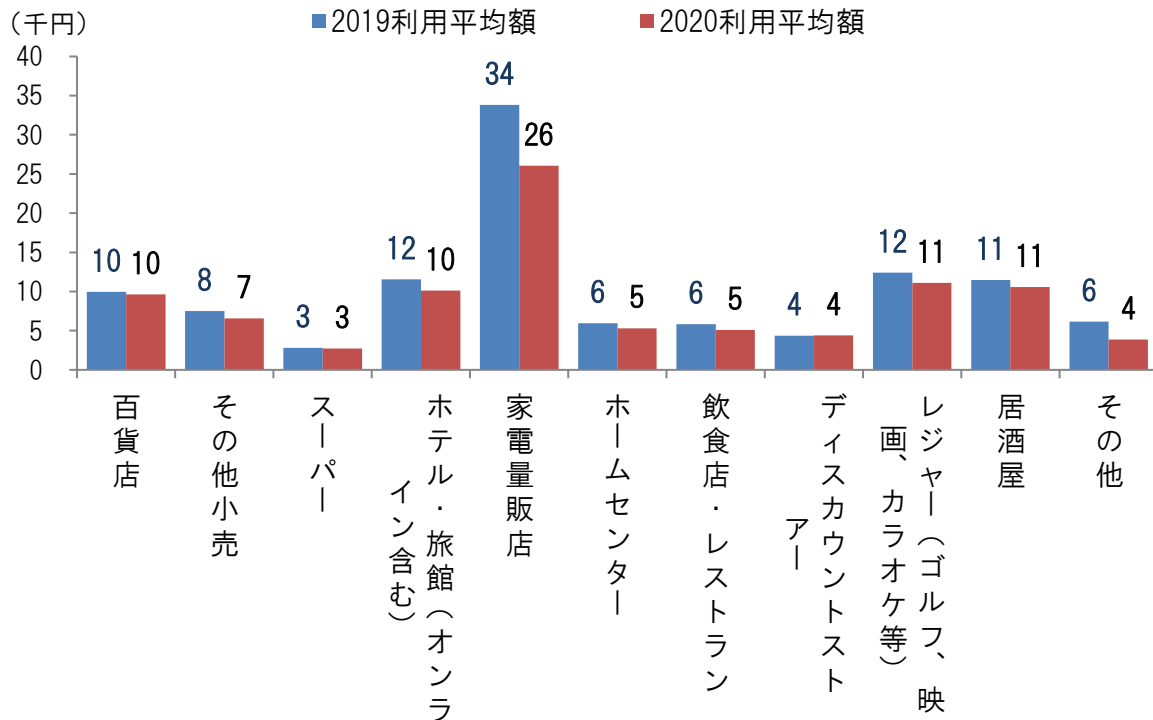
図表31 地点別県内在住日本人の利用額 利用平均額



Ⅲ クレジットカードのデータ分析結果

業種別では、2020 年利用平均額は「家電量販店」が 26,000 円と最も多く、次いで「居酒屋」と「レジャー（ゴルフ、映画、カラオケ等）」が 11,000 円と続きます。2019 年より利用平均額が増加している業種はありませんでした。

図表32 業種別県内在住日本人の利用平均額



6. 小括

- インバウンド客は、2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で利用件数及び利用金額は大幅に落ち込んでいます。2019 年のインバウンドの利用件数は、日本人観光客の 2 倍程度であり消費額は堅調でした。
- 県内の在住外国人は、2020 年のクレジットカードの利用件数は増加しています。利用金額の平均では、最も利用件数が多いアメリカの 1 回あたりの利用金額は 2019 年より 2 千円程減少しています。キャッシュレス決済は増加したものの、1 回あたりの消費単価の増加の方策が必要です。
- 県外日本人客は、インバウンドほどの落ち込みはないもの、2019 年と比較するとやや利用件数、利用金額が減少しています。
- 県内在住日本人は、2020 年のクレジットカードの利用件数は 115%伸びています。一方で利用金額は 2019 年より -4%減少しています。地域では、北谷町での利用件数は 2019 年 142%増加し、利用金額も 114%と前年より伸びていますが、利用平均額は、2019 年より 1,000 円程減少しています。
- 県内在住日本人についても、利用件数が伸びている点で、New Normal な生活様式が定着しつつあります。

IV. 協議会資料

1. 県内キャッシュレス導入実証及び Be. Okinawa Free-Wi-Fi 推進協議会の開催

■ 第1回 協議会開催概要

日 時 : 令和2年12月15日(火) 14時00分～16時00分
 場 所 : 沖縄県庁 1階 第1・第2会議室 / オンライン
 内 容 : (1) 昨年度事業の振り返り
 (2) 本年度事業について
 (3) キャッシュレス推進について
 (4) Be. Okinawa Free wi-fi 推進について
 (5) 次年度事業について

■ 協議会参加者(敬称略・順不同)

- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 部長代理 石井 誠
- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 高嶺 綾
- ・(株)沖縄海邦銀行 総合企画部 情報戦略室 主任調査役 大城 勝広
- ・沖縄セルラー電話(株) 執行役員ビジネス開発部部長 國吉 博樹
- ・沖縄セルラー電話(株) 営業本部 ソリューション営業部 課長 桑門 龍樹
- ・沖縄セルラー電話(株) 営業本部 ソリューション営業部 課長補佐 金城 敏明
- ・沖縄セルラーアグリ&マルシェ(株) マルシェ観光事業推進部 阿波根 昌功
- ・POPCHAT(株) 代表取締役 佐々木 賢司
- ・POPCHAT(株) 沖縄事業開発チーム プロジェクトマネージャー 松川 森秀
- ・ソフトバンク(株) プロダクト企画統括部 本多 正志
- ・(株)ワイアンドワイヤレス 営業本部副本部長 川名 義輝
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 課長 雉鼻 章郎
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 班長 仲里 直也
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 主任 島袋 義之
- ・(株)サーベイリサーチセンター 沖縄事務所 所長 中尾 洋一郎
- ・(株)サーベイリサーチセンター 沖縄事務所 主任 川田 薫
- ・(株)イースト 事業創造部 マネージャー 門下 大樹
- ・(株)イースト 事業創造部 プランナー 渡邊 友花里

■ 協議結果概要

昨年度事業の振り返りと本年度事業の概要説明を実施。各委員より、次年度事業に対する意見を伺った。コロナの影響もあり、キャッシュレス端末導入に対して前向きに検討いただける傾向がある。キャッシュレス消費者還元事業等が終了し、端末導入にかかる費用の補助がなくなってしまうため、本事業でぜひ補助制度を用意してもらえるとありがたい。観光客が来ていない時期に受入環境を整備しておくことが大切。キャッシュレス端末導入の際に、一緒に wi-fi 環境の整

IV 協議会資料

備もできると良いので、併せて補助を受けられる制度を設けられないか。また、人流分析もできれば今後の沖縄の観光振興に寄与するのではないかと。といった意見をいただいた。

■昨年度 振返り資料

令和元年度 振返り 沖縄観光キャッシュレス推進・Be.Okinawa Free Wi-Fi 推進協議会

<実施調査>

日本人観光客アンケート調査	419 票
外国人観光客アンケート調査	416 票
事業者アンケート調査	739 票
レシート調査	日本人 607 票、外国人 628 票

■ 県内事業者のキャッシュレス導入率

導入済：約 70% / 未導入：約 30%

■ 県内事業者のクレジット導入率

約 90%以上がクレジット決済を導入済み

■ 訪沖縄観光客のキャッシュレス決済利用率

キャッシュレス利用：74.5% / キャッシュレス未利用（現金利用）：25.5%

■ 訪沖縄観光客のキャッシュレス決済手段（利用率の高い順）

日本人観光客	VISA 52.2%	JCB 22.1%	MASTER 18.3%
外国人観光客	VISA 53.8%	MASTER 30.1%	銀聯 26.2% アリペイ 22.9% WeChatPay 12.9%

⇒日本人・外国人観光客ともに、クレジット決済利用率が多い。

■ 県内事業者のキャッシュレス未導入理由

1	手数料がかかる	28.2%
2	決済種が多くてわからない	23.2%
3	現金払いが多い	21.8%
4	端末導入費がかかる	18.9%
5	消費促進につながらないと思う	18.7%

手数料に対する懸念が最も大きい。これら懸念の払拭には、手数料以上のメリットを理解してもらう必要がある。（現金を扱うことで生じる人的コストの低減、キャッシュレス決済事業者によるキャンペーンへの参加、コロナ対策、など）

■ レシート調査による観光客決済手段の実態

- 「飲食店」では、87.3%が現金
- 「観光地の土産店」では、85.4%が現金
- 「ファッション専門店・化粧品店」でも、現金が約 5 割
- 「スーパー、コンビニ、ドラッグストア」でも、現金が約 7 割

キャッシュレス決済によるレシート受け取り率が低下している可能性もあるが、それにしても全体的に現金利用率が高い印象。ただし、外国人観光客の場合、「日本はキャッシュレス対応店舗が少ないので、現金を必ず用意する必要がある」という認識が強いため、現金利用率が高い可能性もある。

⇒（委員意見）端末導入施策だけでなく、現金ではなくキャッシュレス決済を利用してもらう施策も必要ではないか。

コンタクトレス決済も、VISA タッチや QUICPay が普及してきているが、その店舗で利用できるかどうかアイコンだけだとわかりづらいケースも多い。

■ Be.Okinawa Free Wi-Fi の観光客認知度

日本人観光客	知っている 20.8%	知らない 79.2%	利用した 41.4%
外国人観光客	知っている 29.3%	知らない 70.7%	利用した 51.6%

■ Be.Okinawa Free Wi-Fi の県内事業者導入率

事業所内で Be.Okinawa Free Wi-Fi を利用できる環境がある	21.7%
事業所内に自社で契約した Free Wi-Fi を利用できる環境がある	64.8%

⇒（委員意見）観光客にも事業者にも、Be.Okinawa Free Wi-Fi の認知度が低いので、まずは認知拡大の施策に重点を置くべきではないか。Wi-Fi 環境の敷設には、事業者向けにそれなりの金額補助がないと難しい印象がある。

⇒（委員意見）利用者が、どこで、どんなときに、なぜ Free Wi-Fi を利用したいのかを知りたい。また、外国人観光客がどのような通信手段をもって来日し、来日後にどのような通信手段を得ているのかを知ること、提供サービスの在り方も考える必要がある。

■ Be.Okinawa Free Wi-Fi ログデータ分析

現状のデータのみでは、アクセス数をベースとした利用頻度や利用場所を視覚化することが限界である。そのため、人流分析を可能とする方法を検討する必要がある。

IV 協議会資料

■ 第2回 協議会開催概要

- 日 時 : 令和2年2月9日(火) 14時00分～16時00分
- 場 所 : オンライン
- 内 容 : (1) コロナ禍におけるキャッシュレスの有用性について
(2) 県内におけるクレジットカード消費動向(速報)
(3) 実証実験内容の共有

■ 協議会参加者(敬称略・順不同)

- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 部長代理 石井 誠
- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 高嶺 綾
- ・(株)沖縄海邦銀行 総合企画部 情報戦略室 主任調査役 大城 勝広
- ・ゴザ信用金庫 総合企画部 次長 城間 誠
- ・ゴザ信用金庫 総合企画部 IT推進担当 伊礼 南海人
- ・沖縄県飲食業生活衛生同業組合 理事長 鈴木 洋一
- ・沖縄セルラー電話(株) 営業本部 ソリューション営業部 課長 桑門 龍樹
- ・沖縄セルラーアグリ&マルシェ(株) マルシェ観光事業推進部 阿波根 昌功
- ・POPCHAT(株) 代表取締役 佐々木 賢司
- ・ソフトバンク(株) プロダクト企画統括部 本多 正志
- ・(株)ワイアンドワイヤレス 営業本部副本部長 川名 義輝
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 課長 雉鼻 章郎
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 班長 仲里 直也
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 主任 島袋 義之
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 主査 石原 慎太郎
- ・(株)サーベイリサーチセンター 沖縄事務所 主任 川田 薫
- ・(株)イースト 事業創造部 マネージャー 門下 大樹
- ・(株)イースト 事業創造部 プランナー 渡邊 友花里

■ ゲスト

- ・中部病院感染症内科 高山 義浩 先生

■ 協議結果概要

コロナ禍におけるキャッシュレスの有用性について、中部病院感染症内科 高山先生よりお話を伺った。沖縄県で推進しているコンタクトレス決済は、コロナ対策上は有利。物を介しての感染はコロナにおいて比較的多く起きている。キャッシュレス決済を増やすことで小売店、飲食店での感染リスクを減少させる効果が期待できると考える。また、最近はキャッシュレス決済を利用することで、感染対策を心がけているというメッセージにもなる。どれだけコロナ対策につながるかは未知数ではあるが、出来ることはきちんとやっていると見せることは、インバウンドの方へのメッセージとしても強いと考える。とのご意見をいただいた。

■ 高山先生との質疑応答（一部抜粋）

物を介しての感染はコロナにおいて比較的多く起きている。飛沫感染が起きるのは事実だが、現状対面ではマスクをつけているので、今は接触感染くらいしかない。物を介すとなると、トイレや、エレベーターのボタンなどが考えられるが、飲食店などでは定期的な消毒が進められている。決して硬化や紙幣のやり取りが感染リスクが大きいと主張するつもりはないが、原因として残っているのはその辺りではないか、というのが感染症医としての実感。

特に紙の上だと2～3日、銅の上だともう少し長くウイルスが残るというエビデンスもある。その都度消毒をすることが現実的ではないということを考えると、キャッシュレス決済を利用できる小売店、飲食店を増やしていくことで、感染リスクを減らしていく効果が期待できると考える。

ヨーロッパでは、銀行職員など常にお金を触り続ける仕事が、リスクにさらされているといわれている。一方、飲食店ではお金を触った後に手を消毒するオペレーションをコロナが流行する前から行っているので、通常はリスクが低い。お客さんがお釣りをもらったあとにもう一度消毒する人はまだ少ないので、お客さんを守るという意味合いで、キャッシュレス決済を進める意義があると考ええる。

コロナ対策では、お金に限らず公共のものを触ったら手指消毒をするように、と注意喚起されており、お金も公共のものである、という認識を広げていくのが感染症医の仕事だと思う。すべての支払いがキャッシュレスになるのであればこういったエデュケーションは必要なくなるが、どこかで現金のやりとりがある以上、私たちは教育をしていきます。それに対するコンプライアンスの度合いによって同時にキャッシュレス決済が普及することで、どの程度感染が起きるリスクを低減できるかということのバランスになる。両方努力していくことが重要と考えます。

飲食店であれば、家族以外の大勢での飲食はマスクを外すのでリスクがある。小売店であれば、商品を触ったあとにまた別のお客様が商品を触るというリスクがある。何かに触った後は、必ず消毒ができるようにすること、こまめに消毒ができる環境を作っておくことが大切。トイレについてはいろんなものを触った後に行くことが多いので、トイレに入る前、トイレから出た後の両方の消毒を心掛けていただきたい。

自身も日常生活で現金を使うのはごく限られた場面のみ。お金の管理が楽という面と、小銭を使わなくていいという面、最近は感染対策を心がけているというメッセージにもなる。どれだけコロナ対策につながるかは未知数ではあるが、出来ることはきちんとやっていると見せることは、インバウンドの方へのメッセージとしても重要と考える。

手袋をつけることが感染予防に有効かということについては、手袋をつけること自体よりも、手袋をつけている間はその手袋が汚染されているという認識が重要。その間は顔を触らない、手袋をしていなくても何かに触った後、消毒、手洗いをきちんとしていれば感染対策はできている。

IV 協議会資料

スマートフォンの扱いについては課題が多い。手指消毒をすることが重要で、自分の顔と同じだと考える。スマートフォンを触る前に手指消毒をすることが重要。汚染された手でスマートフォンを触ったらスマートフォンを消毒する。トイレでスマートフォンを触る人が多いと思うので、トイレでの所作が心配。トイレの蓋が一番汚染されている。蓋を触った後にスマートフォンを触ることがリスクであり、トイレの蓋は開けたままの方がよい。その方が、次の人が汚染された蓋を触ってしまうリスクがない。トイレの各個室に消毒があることがベストだと考えるが、そこまでの対応はまだできていない。

キャッシュレスが進んでいくことはよいことだと考えているが、シニア世代のデジタルシフトが進んでいない中でキャッシュレスだけが先行し、標準化されると、特に沖縄では置いてきぼりになってしまうお年寄りが多く出てしまう。キャッシュレス決済を進めると同時に、現金決済という文化もきちんと守っていきながらの同時進行が望ましい。

■ 第3回 協議会開催概要

- 開催期間 : 令和2年3月12日(金) 14時00分～16時00分
 場所 : オンライン
 内容 : (1) 実証実験調査結果報告
 (2) Be. Okinawa Free wi-fi ログデータ分析
 (3) 来期事業に向けて

■ 協議会参加者(敬称略・順不同)

- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 部長代理 石井 誠
- ・(株)琉球銀行 ペイメント事業部 高嶺 綾
- ・(株)沖縄海邦銀行 総合企画部 情報戦略室 主任調査役 大城 勝広
- ・ゴザ信用金庫 総合企画部 次長 城間 誠
- ・ゴザ信用金庫 総合企画部 IT推進担当 伊礼 南海人
- ・沖縄県飲食業生活衛生同業組合 理事長 鈴木 洋一
- ・沖縄セルラー電話(株) 執行役員ビジネス開発部部長 國吉 博樹
- ・沖縄セルラーアグリ&マルシェ(株) マルシェ観光事業推進部 阿波根 昌功
- ・POPCHAT(株) 代表取締役 佐々木 賢司
- ・(株)ワイアンドワイヤレス 営業本部副本部長 川名 義輝
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 主任 島袋 義之
- ・沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 受入推進班 主査 石原 慎太郎
- ・(株)サーベイリサーチセンター 沖縄事務所 主任 川田 薫
- ・(株)イースト 事業創造部 マネージャー 門下 大樹
- ・(株)イースト 事業創造部 プランナー 渡邊 友花里

■ 協議結果概要

キャッシュレス端末導入実証実験調査結果報告と Be. Okinawa Free wi-fi ログデータ分析の結果について報告を行った。Be. Okinawa Free wi-fi の利用については、国内外問わず観光客が大幅に減少している中で、Wi-Fi 利用数が増えているという結果であった。テレワークやワーケーション等、コロナ禍における生活様式の変化により、新たな需要があったものと推察される。次年度に向けては、経産省のキャッシュレス消費者還元事業等が終了した影響もあり、キャッシュレス端末は無償で導入できるという事業者の感覚が残っているため、補助制度がないと導入のハードルはまだ高いと考える。そのため、県で端末導入における補助制度があると良い。テレワークやワーケーションが進んでいるという実感もあるので、通信環境とキャッシュレス促進を同時に進めることができると良いのではないかと。というご意見をいただいた。県として、次年度は本事業の3年目にあたり、キャッシュレスの普及促進を行っていく。導入事業者数も増やしてアンケートを実施し、今年度の補完をしたい。Be. Okinawa Wi-fi に関してはアクセスポイントが減っているので効果的なプロモーションや支援等を協議会を通して検討していきたい。

2. Be. Okinawa Free Wi-Fi ログデータ分析

第3回

沖縄観光キャッシュレス推進・Be.Okinawa Free Wi-Fi推進協議会

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log Data Report [2020.01 – 2020.12]

2021.3.12

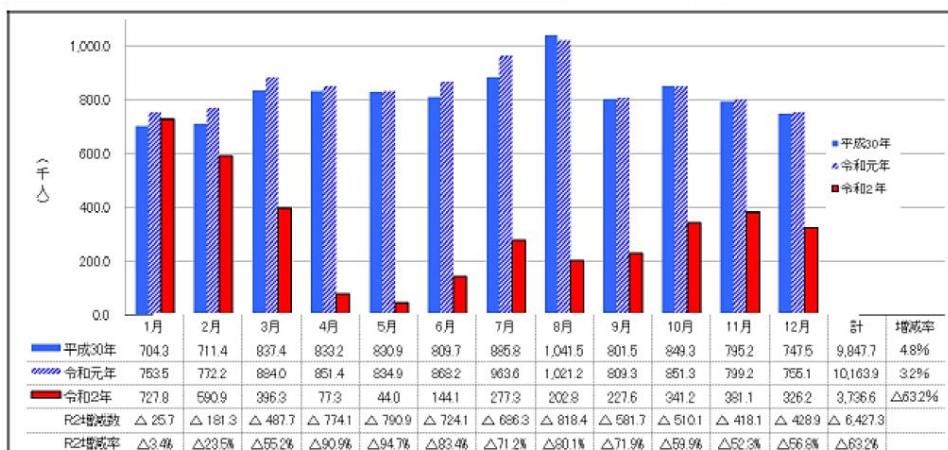
EAST.inc

▽参考：月別入域観光客数の推移（H30年～令和2年）

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

参考：月別入域観光客数の推移（H30年～令和2年）

令和2年（暦年）沖縄県入域観光客統計概況
文化観光スポーツ部 観光政策課

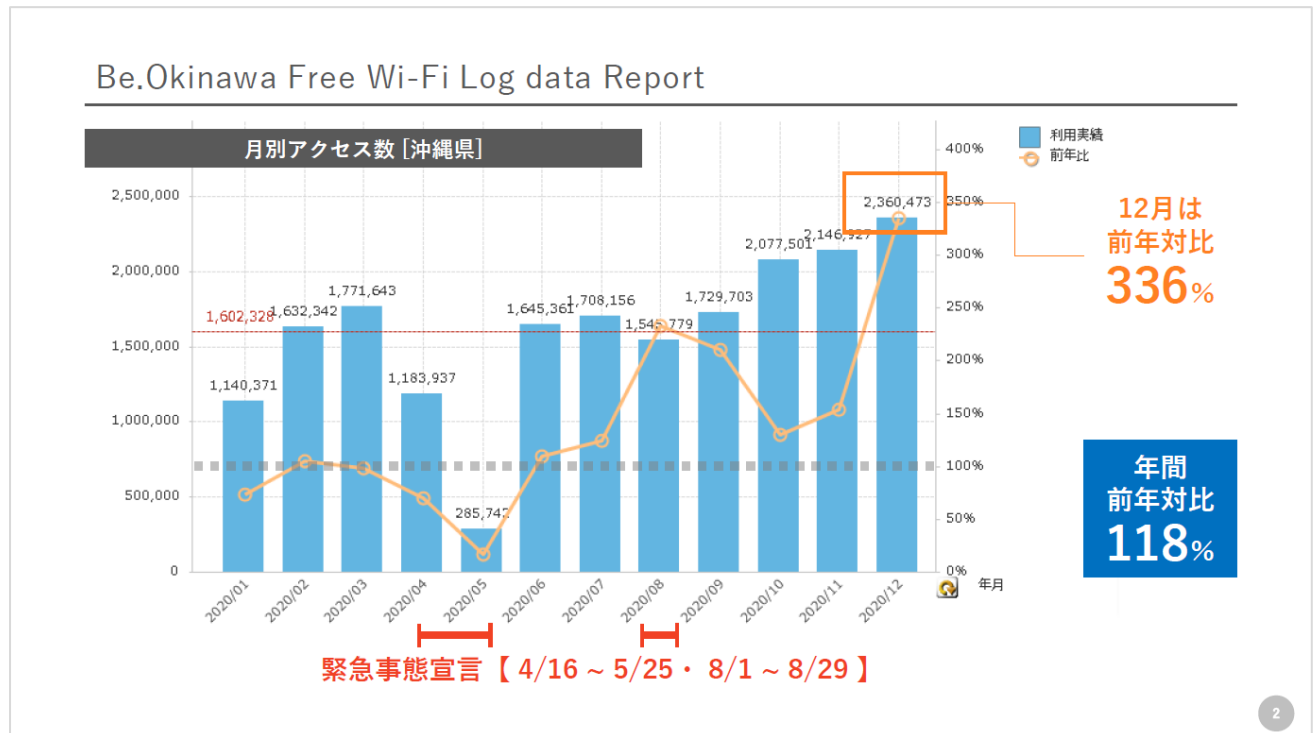


緊急事態宣言【4/16～5/25・8/1～8/29】

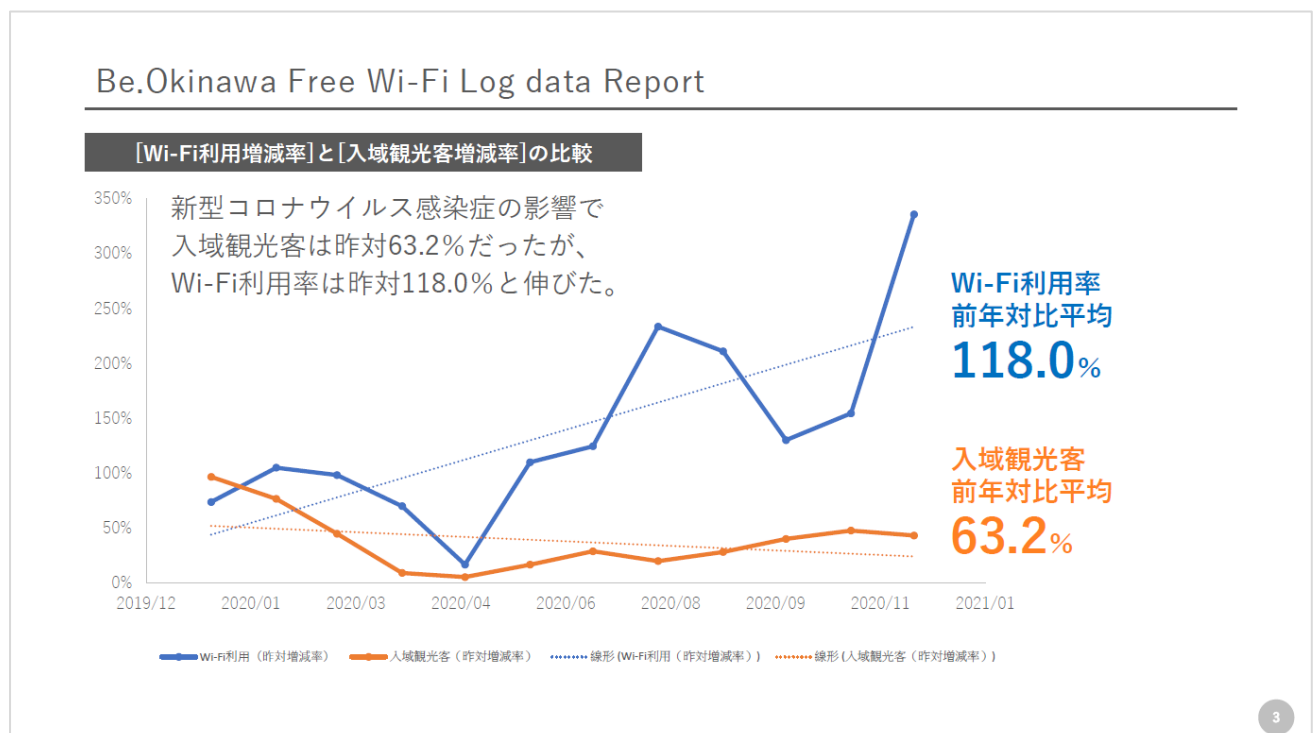
年間
前年対比
63.2%

▽沖縄県における Be. Okinawa Free Wi-Fi の月別アクセス数

第1回緊急事態宣言（4月16日～5月25日）は大幅にアクセス数が下がったが、その後、入域観光客数が元の水準に戻っていないにもかかわらず、Wi-Fiのアクセス数は伸び続け、前年対比は118.0%という結果だった。



▽ [Wi-Fi 利用増減率]と[入域観光客増減率]の比較



IV 協議会資料

▽【沖縄県】の Be. Okinawa Free Wi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【沖縄県】 Wi-Fiアクセス数ランキング

No	店舗名	利用実績
1	那覇空港	306,585
2	サンエー 宜野湾コンベンションシティ	250,257
3	サンエー 西原シティ	247,864
4	サンエー 具志川メインシティ	156,696
5	サンエー 経塚シティ	140,844
6	サンエー つかざんシティ	82,802
7	サンエー 那覇メインプレイス	82,349
8	アムズガーデン 泡瀬店	81,969
9	宜野湾市役所	71,781
10	ジャンボおもしろ店	64,514
11	ジャンボポートアイランド店	63,275
12	新石垣空港	63,233
13	サンエー 那覇メインプレイス増設	60,752
14	アムズガーデン 国場店	60,019
15	KDDIエボルバ沖縄	57,399

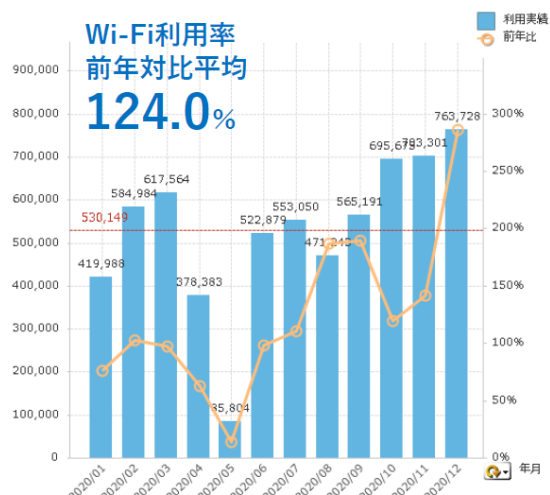
No	店舗名	利用実績
16	ラウンドワン 沖縄・宜野湾店	55,746
17	首里りうぼう	55,657
18	MEGAドン・キホーテ 宜野湾店	53,659
19	うるマルシェ	51,923
20	ケンタッキーフライドチキン 西原坂田店	51,294
21	宜野座村役場	50,640
22	ローソン 那覇牧志公園前	49,153
23	J・Park ディノ店	48,342
24	ローソン タイムスビル	44,520
25	ドン・キホーテ 国際通り店	43,856
26	マツモトキヨシ 宜野湾コンベンションシティ店	43,648
27	サンエー ハンビータウン	43,014
28	サンエー しおぎシティ	41,396
29	フジカラーバレットブラザ 具志川メインシティ店	40,907
30	マリンプラザあがり浜	37,679

4

▽【那覇市】の月別 Wi-Fi アクセス数と Wi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【那覇市】 月別Wi-Fiアクセス数



【那覇市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

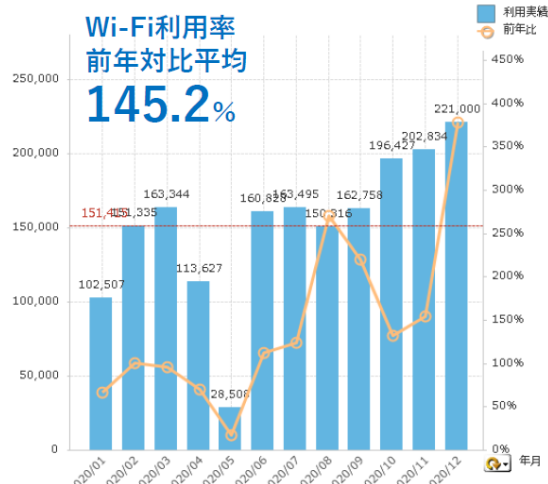
No	店舗名	利用実績
1	那覇空港	306,585
2	サンエー つかざんシティ	82,802
3	サンエー 那覇メインプレイス	82,349
4	ジャンボおもしろ店	64,514
5	ジャンボポートアイランド店	63,275
6	サンエー 那覇メインプレイス増設	60,752
7	アムズガーデン 国場店	60,019
8	首里りうぼう	55,657
9	ローソン 那覇牧志公園前	49,153
10	ローソン タイムスビル	44,520
11	ドン・キホーテ 国際通り店	43,856
12	MiMi英会話教室	37,438
13	auショップ 天久りうぼう楽市	37,390
14	ローソン おもろまち駅前	36,322
15	CARGOES 那覇国際通り店	35,506

5

▽【沖縄市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【沖縄市】 月別Wi-Fiアクセス数



【沖縄市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

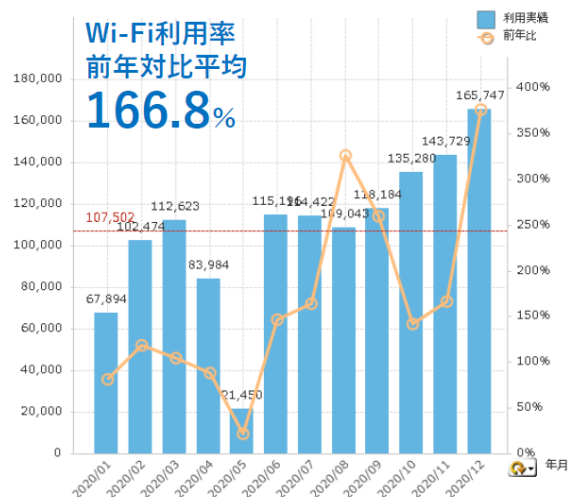
No	店舗名	利用実績
1	アムズガーデン 泡瀬店	81,969
2	KDDIエボルバ沖縄	57,399
3	うるまシティプラザ	33,187
4	スポーツパレス ジスタス美里	27,927
5	サンシャイン 山内店	27,576
6	ローソン 沖縄上地	26,119
7	ダイソー&アオヤマ100YEN PLAZA 沖縄宮里	25,754
8	アムズガーデン 赤道店	24,574
9	琉球ダイハツ販売 中部店	24,334
10	センチュリー泡瀬給油所	23,425
11	ローソン 沖縄園田三丁目	22,144
12	サンシャイン美里店	21,924
13	ローソン 沖縄コザ高校前	21,638
14	シャディ沖縄 泡瀬店	21,432
15	サンシャイン泡瀬店	20,049

6

▽【うるま市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【うるま市】 月別Wi-Fiアクセス数



【うるま市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

No	店舗名	利用実績
1	サンエー 具志川メインシティ	156,696
2	うるまマルシェ	51,923
3	J・Park ディノ店	48,342
4	フジカラーバレットプラザ 具志川メインシティ店	40,907
5	サンエー 与勝シティ	31,926
6	MEGAドン・キホーテうるま店	31,227
7	J・Park 石川店	24,964
8	ベスト電器 イオン具志川店	22,248
9	うるま市地域交流センター	21,469
10	ベイシティ名宝具志川店	20,962
11	あやはしロードパーク駐車場	20,750
12	エディオン 具志川メインシティ店	20,581
13	ENEOS 平良川店	18,659
14	トヨタカローラ沖縄 中部店	18,532
15	琉球ダイハツ販売 中部うるま店	17,971

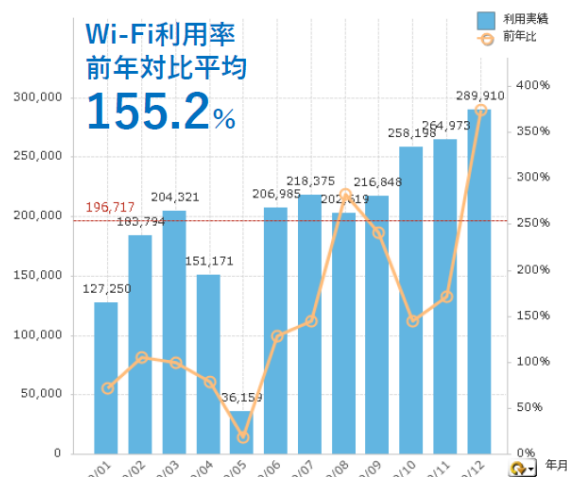
7

IV 協議会資料

▽【浦添市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【浦添市】 月別Wi-Fiアクセス数



【浦添市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

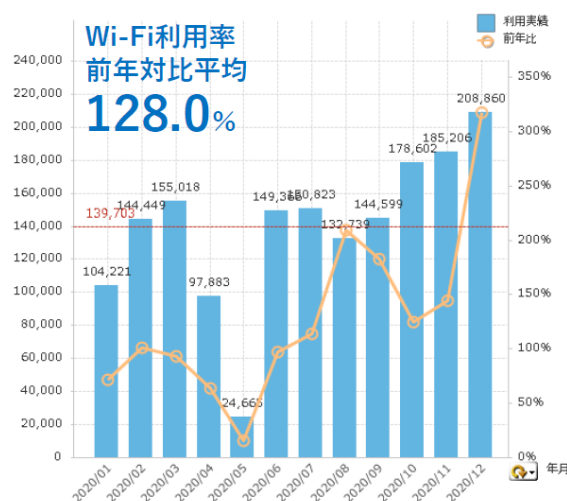
No	店舗名	利用実績
1	サンエー 経塚シティ	140,844
2	浦西りうぼう	37,525
3	マツモトキヨシ 経塚シティ店	37,367
4	沖縄鮮魚卸流通協同組合	34,270
5	カープスマックスバリュ伊祖	26,327
6	Honda Cars 沖縄 牧港店	26,123
7	ジャンボ G1店	25,653
8	ローソン 浦添牧港二丁目	25,281
9	ファラオ本店	25,037
10	サンエー V21うらにし食品館	24,699
11	美容室なないろ	24,380
12	ローソン バイブライン通伊祖	24,034
13	ブルーポート浦添SS	23,604
14	サンエー マチナトショッピングセンター	23,221
15	ENEOS 牧港店	22,858

8

▽【宜野湾市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【宜野湾市】 月別Wi-Fiアクセス数



【宜野湾市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

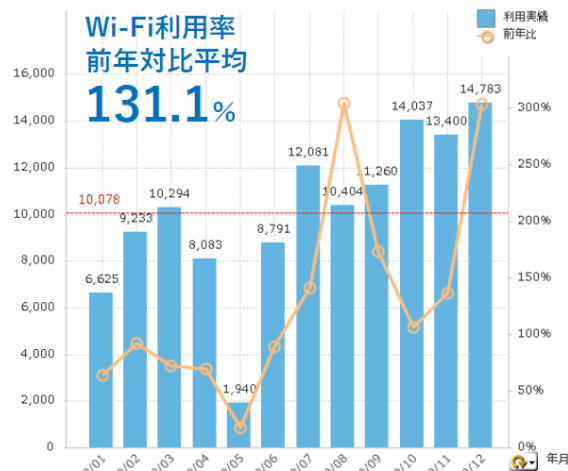
No	店舗名	利用実績
1	サンエー 宜野湾コンベンションシティ	250,257
2	宜野湾市役所	71,781
3	ラウンドワン 沖縄・宜野湾店	55,746
4	MEGAドン・キホーテ 宜野湾店	53,659
5	マツモトキヨシ 宜野湾コンベンションシティ店	43,648
6	東急ハンズ 宜野湾コンベンションシティ店	37,088
7	サンエー 大山シティ	28,027
8	専修学校 バシフィックテクノカレッジ学院	22,674
9	ローソン 北中城安谷屋	22,393
10	ラウンジ DIVA	20,634
11	Piece	18,064
12	大久保サービスステーション	16,561
13	ローソン 宜野湾宇地泊	16,206
14	宜野湾海浜公園/体育館	16,141
15	ダイソー&アオヤマ100YEN PLAZA 宜野湾	16,018

9

▽【宮古島市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【宮古島市】 月別Wi-Fiアクセス数



【宮古島市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

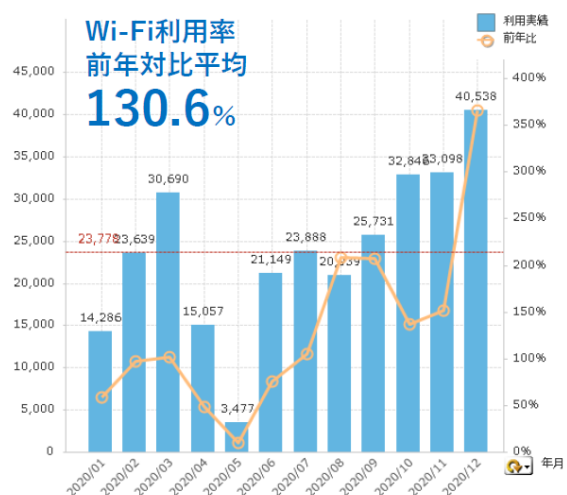
No	店舗名	利用実績
1	宮古空港ターミナル	36,427
2	ドン・キホーテ 宮古島店	17,224
3	サンエー ショッピングタウン宮古衣料館	13,864
4	サンエー ショッピングタウン宮古食品館	11,407
5	ジョイフル 宮古店	8,572
6	サンエー 宮古オリタ食品館	6,182
7	琉球銀行 宮古支店	3,510
8	サンエー V21カママヒルズ食品館	3,241
9	ふく薬品 みやこ店	3,146
10	ケンタッキーフライドチキン 宮古店	3,062
11	沖縄銀行 宮古支店	2,904
12	沖縄工 宮古営業所	2,393
13	ふく薬品 西里店	2,334
14	海邦銀行 宮古支店	1,839
15	テックランド 宮古島店	1,442

10

▽【石垣市】の月別Wi-Fi アクセス数とWi-Fi アクセス数店舗ランキング

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

【石垣市】 月別Wi-Fiアクセス数



【石垣市】 Wi-Fiアクセス数ランキング

No	店舗名	利用実績
1	新石垣空港	63,233
2	ミヤギ産業 空港前給油所	18,116
3	石垣SSグループ 新栄町サービスステーション	10,315
4	丸俊商会	10,245
5	ザ・ダイソー やいま店	10,049
6	auショップ サンエー石垣シティ	9,899
7	カラオケ ねいろ	9,149
8	石垣SSグループ 仲道サービスステーション	7,980
9	石垣SSグループ 新小前サービスステーション	7,662
10	メイクマン石垣	6,981
11	おたる 八角屋 登野城店	6,636
12	ヴィレッジヴァンガード イオンタウンやいま店	6,057
13	八重山石油 真栄里給油所	5,697
14	きじむな一の台所	5,394
15	焼肉きたうち 金城店	5,098

11

IV 協議会資料

▽ Be. Okinawa Free Wi-Fi リクエスト言語

Be.Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

リクエスト言語

※認識できた言語に限る

no	リクエスト言語	合計	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12
1	英語(アメリカ)	96,050	12,550	11,428	11,010	7,166	2,121	8,039	8,220	6,813	6,550	7,822	7,164	7,167
2	ベトナム語(ベトナム)	31,793	3,414	2,998	3,316	2,908	659	2,914	2,815	2,283	2,683	2,695	2,595	2,513
3	中国語(繁体字)	12,818	5,653	3,667	823	477	86	382	374	323	231	317	249	236
4	インドネシア語(インドネシア)	11,209	1,466	1,035	1,090	860	240	991	1,114	1,026	1,013	818	776	780
5	英語(イギリス)	8,707	1,417	1,155	845	487	122	557	730	561	561	761	666	845
6	インドネシア語	8,651	984	758	840	534	130	854	1,076	788	679	674	706	628
7	中国語(簡体字)	8,258	2,284	1,319	897	529	116	423	499	373	492	478	357	491
8	韓国語	6,021	1,343	810	769	338	76	388	399	331	338	401	409	419
9	英語(オーストラリア)	2,132	374	217	241	111	22	161	193	169	194	143	139	168
10	英語(フィリピン)	2,098	294	199	157	157	33	266	164	133	221	179	179	116
11	ポルトガル語(ブラジル)	1,451	129	130	109	112	31	114	109	144	126	171	140	136
12	英語(カナダ)	1,144	158	175	166	54	6	89	69	75	71	104	89	88
13	英語(アイルランド)	1,141	64	48	128	107	42	143	135	78	62	116	111	107
14	タイ語(タイ)	1,083	137	136	80	56	13	82	90	102	125	122	64	76
15	フランス語(フランス)	1,071	151	158	210	85	17	106	137	66	54	32	24	31

12

3. Be. Okinawa Free Wi-Fi オーナー向けサイト

Be.Okinawa Free Wi-Fi オーナー向けサイトを県庁HPに移管

[illegible]

13

4. Be. Okinawa Free Wi-Fi アンケートの設置

下記 Be. Okinawa Free Wi-Fi サイトからアンケートを取得

<http://be.okinawa.free.wifi.okinawaclip.com/>

言語対応（日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語）



（アンケート設問）

- Q1. 普段住んでいる国・地域はどちらですか。
- Q2. 性別を選んでください。
- Q3. 沖縄に来たのは何回目ですか。
- Q4. 出発前に得た沖縄の旅行情報の中で役に立ったと感じたものは何ですか。
- Q5. 沖縄訪問の主な目的を選んでください。
- Q6. 沖縄での Wi-Fi 利用に満足しましたか。
- Q7. 沖縄での Wi-Fi 利用に関して改善点は何かと思いますか。

Be.Okinawa Free Wi-Fi サイトからアンケートの取得

The first three questions of the survey are as follows:

Q1. 普段住んでいる国・地域はどちらですか。【1つだけ選択ください】
*
☐ 日本
☐ 韓国
☐ 台湾
☐ 中国
☐ 香港

Q2. 性別を選んでください。【1つだけ選択ください】
*
☐ 男性
☐ 女性
☐ あてはまるものはない

Q3. 沖縄に来たのは今回で何回目ですか。【1つだけ選択ください】
*
☐ はじめて
☐ 2回目
☐ 3回目以上

15

Be.Okinawa Free Wi-Fi サイトからアンケートの取得

The last three questions of the survey are as follows:

Q4. 出発前に得た沖縄の旅行情報の中で役に立ったと感じたものは何ですか。【あてはまるものをすべて選択ください】
* (複数選択)
☐ Be.Okinawa (おきなわ物語)
☐ 旅行会社ホームページ
☐ 宿泊施設ホームページ
☐ 航空会社ホームページ

Q5. 沖縄訪問の主な目的を選んでください。【1つだけ選択ください】
*
☐ 観光・レジャー
☐ 親族・知人訪問
☐ 新婚旅行
☐ 結婚式 (自分の、親族・知人の)
☐ インセンティブツアー

Q6. 沖縄でのWi-Fi利用に満足しましたか。【1つだけ選択ください】
*
☐ 満足
☐ やや満足
☐ 普通
☐ やや不満
☐ 不満

Q7. 沖縄でのWi-Fi利用に関して改善点は何かありますか。【あてはまるものをすべて選択ください】
* (複数選択)
☐ 利用開始手続きをわかりやすくする
☐ 暗号化し安心して利用できるアクセスポイントを増やす
☐ 通信速度の高速化
☐ 利用可能場所をわかりやすく明示する

16

V. 総括

V 総 括

1. 総 括

本事業で実施したキャッシュレス決済端末効果検証調査で、【今までキャッシュレス決済端末を導入していなかった理由（複数回答）】に対して、「手数料がかかるため」という理由が 54.0%で最も多かったが、導入後の【事業所でキャッシュレス決済端末を導入した感想（複数回答）】で「手数料が想像以上にかかる」を選択した回答率は、わずか 3.8%であった。このことから、キャッシュレス決済は手数料がかかることを理由に導入していなかった事業所でも、実際に導入・運用してみると、思った以上には手数料はかからず、想定内の認識であることがわかった。一方で、「消費増大につながっている」を選択した回答率は 57.7%と多かった。それゆえ、導入前は手数料がかかることへの懸念や障壁は生じるものの、導入後は売上が上がっている実感も得られているので、キャッシュレス決済の導入促進には、導入前に手数料に対する不安を払拭できる説明が重要と考える。

また、【キャッシュレス決済端末を導入した満足度】では、「とても満足」（42.3%）＋「やや満足」（15.4%）を合わせた 57.7%が満足しており、「やや不満」「とても不満」は 0%であった。【キャッシュレス決済端末導入の推奨度】においても、「大いにしたい」（76.9%）＋「ややしたい」（23.1%）で 100%が推奨したいという結果であり、キャッシュレス決済端末導入促進への期待が見られた。

クレジットカードデータ分析では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でインバウンド客が大幅に減少したため、2020 年のデータは参考程度と捉え、2019 年のデータを主に考察する。

まず、【地域別インバウンド客クレジット利用件数】は、「台湾、アメリカ、中国、韓国、香港」の順となっており、【利用金額】においても「台湾、中国、アメリカ、香港、韓国」の順で主にアジア圏が占める結果となっている。ただし、【クレジット利用平均額】を見ると、「イギリス、マカオ、韓国、シンガポール、中国」の順となっており、クレジット決済額の多い国は、利用件数の多いアジア圏とは少し異なる結果となった。特にイギリスにおいては他国に比べて利用平均額が高いため、今後、滞在期間との関係性なども調査できると、クレジット利用促進をアプローチすべき国籍の把握につながる可能性がある。業種別のクレジット利用件数・金額においては、ディスカウントストア・ホテル（旅館）・ドラッグストア・飲食店（レストラン）が多く利用されていた。

【県外日本人客クレジット利用件数】では、ホテル（旅館）が最も多く利用され、その他はあまり差がない結果となった。調査対象エリアの順で利用金額順を見ると、国際通り、北谷町、北部の順だが、利用平均額を見ると北谷町が国際通りの 1.8 倍程度の平均額となっており、国際通りでの消費単価が低いことに課題が伺える。

本事業の協議会に中部病院感染症内科の高山義浩先生をお招きし、キャッシュレス決済促進におけるコロナ対策の有用性について伺った。飛沫感染防止のためのマスク着用が定着しているので、決済のための対面時の感染は防げていると思うが、現金等の受け渡しによる接触感染は防げない。それゆえ、キャッシュレス決済の導入店舗を増やすことで、小売店、飲食店での感染リスクを減少させる効果が期待できるという見解であった。また、利便性だけでなく感染症対策としても、キャッシュレス決済環境を整えることは、今後のインバウンド客へのメッセージとしても効果的と助言

いただいた。コロナ以前より、日本は海外から衛生面の良さが評価されているため、キャッシュレス決済の導入促進は、多方面で効果のある重要な施策と考えられる。

Be. Okinawa Free Wi-Fi ログデータ分析（2020 年 1 月～2020 年 12 月）では、2020 年の沖縄入域観光客数が 2019 年との対比で 63.2%と激減しているにも限らず、Be. Okinawa Free Wi-Fi のアクセス数は昨年対比で 118.0%と増加した結果となった。これは、純粋に Wi-Fi を利用する「頻度」が増えたと推察できる。では、どのような場所でのアクセスが多いかを見ると、空港をはじめ、ショッピングセンター、コンビニエンスストアが上位に多い。ただし、一部公共施設が上位にランクインしていることも興味深い。ショッピングセンターもそうだが、地元住民が集まる場所でのアクセスが多くなっているのも、県内における Be. Okinawa Free Wi-Fi の認知度・ニーズが高くなっていると思われる。今後、リモートワークやワーケーションも推奨されていくので、Be. Okinawa Free Wi-Fi サイトのアンケート結果なども参考にしながら、このニーズの実態を把握していきたい。

本事業は次年度で 3 年目となり、1 年目の調査、2 年目の実証を経て、普及活動を強化する。コロナ終息後のインバウンド回復も見込み、県による補助制度でキャッシュレス決済端末導入店舗をさらに増加させる。その際、本年度事業でのアンケート結果もうまく活用し、事業者のキャッシュレス導入における重要性の理解度を高めたい。また、Be. Okinawa Free Wi-Fi においても、アクセス数の増加に対してアクセスポイントが減少している懸念もあるので、導入支援施策を協議会を通して検討していく。

令和2年度県内キャッシュレス導入実証及び
Be. Okinawa Free Wi-Fi 推進委託業務
実施報告書

令和3年3月発行

発 行 者：沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課

受 託 機 関：株式会社サーベイリサーチセンター
株式会社イースト